

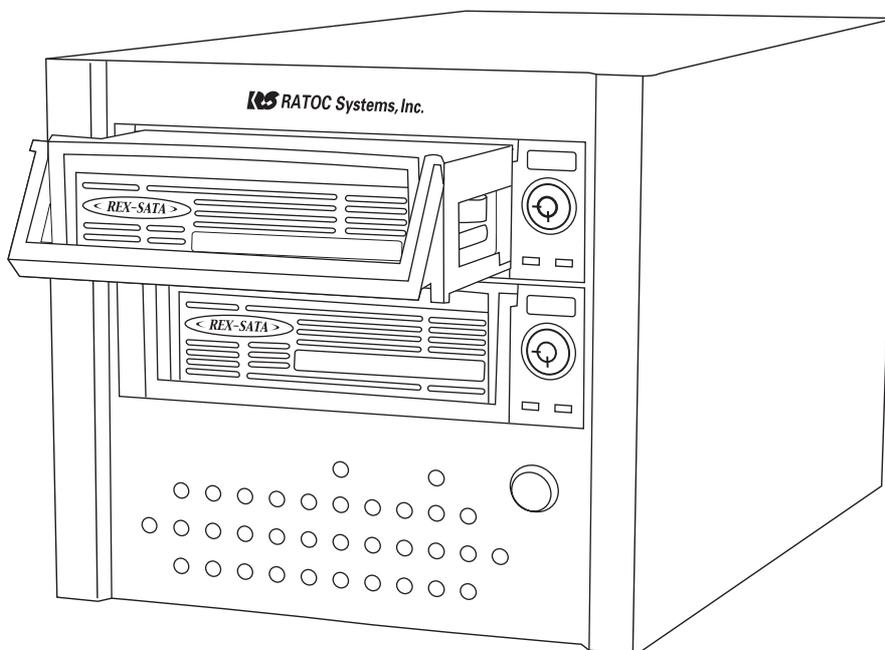
REX-RAID シリーズ

LAN接続型 リムーバブルRAIDケース (外付け2ベイ)

SA-DK2-NAS

ユーザーズマニュアル

2011年6月 第1.2版



本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

RATOC Systems, Inc.

<ご注意>

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

目次

●安全にご使用いただくために	3	8.共有フォルダーの設定	34
はじめに	4	-1.共有フォルダーについて	34
1.はじめに	5	-2.共有フォルダーの作成	36
-1.動作環境	5	-3.プライベートフォルダーの作成/削除	38
-2.各部名称	6	-4.共有フォルダーへのアクセス方法	39
-3.ケース本体のランプ表示について	7	■Windows 7の場合	39
-4.動作モードについて	8	■Windows Vistaの場合	40
-5.使用文字制限	9	■Windows XPの場合	41
-6.使用上の注意	10	■Windows 2000の場合	43
導入編	12	■Mac OS 10.6/10.5の場合	45
2.本製品の設置	13	■Mac OS 10.4の場合	46
-1.本製品が使えるようになるまでの手順	13	-5.共有フォルダーの設定変更	47
-2.ハードディスクの取り付け方	14	-6.共有フォルダーの編集	48
-3.本製品の設置	16	-7.共有フォルダーの削除	49
3.設定画面へのログイン方法	17	9.メール通知の設定	50
-1.【Windows編】	17	10.設定した環境の保存と復元	51
-2.【Mac OS編】	19	11.本製品のシャットダウン手順	52
4.ハードディスクの設定	20	運用編	53
-1.RAID1/JBODモードを使用する場合	20	12.ハードディスク交換の手順	54
-2.シングルモードを使用する場合	21	13.ハードディスクの追加（シングルモード）	56
-3.省電力モードの設定	22	14.ユーザーごとにディスクセットを使い分ける	57
操作編	25	15.デイリーバックアップをする	58
6.ユーザーの設定	26	16.動作モードの変更	59
-1.ユーザーの登録	26	-1.動作モード変更時の注意	59
-2.ユーザーの設定変更	28	-2.RAID1もしくはJBOD使用時の動作モード変更手順	60
-3.ユーザーの削除	29	-3.シングルモード使用時の動作モード変更手順	61
7.グループの設定	30	17.背面USBポートを活用する	62
-1.新規グループの作成	30	-1.USBハードディスクを増設する	62
-2.メンバーの編集	32	-2.USBプリンターを共有して使用する	64
		18.iTunesサーバー機能を活用する	70
		-1.iTunesサーバーとして使用する場合の注意	70
		-2.iTunesサーバーの設定方法	71
		異常時の対応	72
		19.障害が発生した場合	73

こんなときは	74
■本製品が検出されない場合 (Windows)	75
■本製品が検出されない場合 (Mac)	76
■USB機器が正しく認識されない	77
■出荷時の設定に戻すには	78
■ファームウェアの更新をおこなうには	79
■管理者パスワードを変更するには	80
■リビルドに失敗した場合の対処方法	81
仕様	82
一般仕様	83
リファレンス	84
お問い合わせ	124
オプション品のご案内	126
●SA-DK2-NAS 質問用紙	

本製品は安全に充分配慮して設計を行っていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

警告

- 製品の分解や改造等は、絶対に行わないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることは行わないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。

注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカー等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

はじめに

1. はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。



※記載している内容は、本書制作時のものです。フォルダー名、ファイル名、画面などが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

※本書ではハードディスクをHDDやディスクと表記することがあります。ご了承ください。

1-1. 動作環境

■対応OS

Windows 7/Vista/XP/2000、Windows Server 2008R2/2008/2003R2/2003

※64ビット版にも対応しています。（Windows 2000を除く）

Mac OS X 10.4以降

■設定に必要なソフトウェア

Internet Explorer 6.0以上、Safari 3.0以上

■対応パソコン

LANインターフェイスを搭載したWindows PC、Mac

※パソコンがLANインターフェイスを搭載していない場合はLANアダプターが必要です。

■対応ドライブ

SATA仕様 3.5インチハードディスク、2.5インチハードディスク

（80GB以上2TB以下のディスク容量に対応しています。）

※RAID1を利用する場合は、同一メーカー、同一型番のハードディスクを推奨します。

■対応LAN環境

1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T

※本製品はLANで接続します。

※Jumbo Frame 16000Byte対応のハブには接続できません。

■対応USB機器

USBハードディスク、USBプリンター、USBプリンター複合機（FAX、スキャナー、カードリーダーなど搭載）、USBメモリ、USBカードリーダー

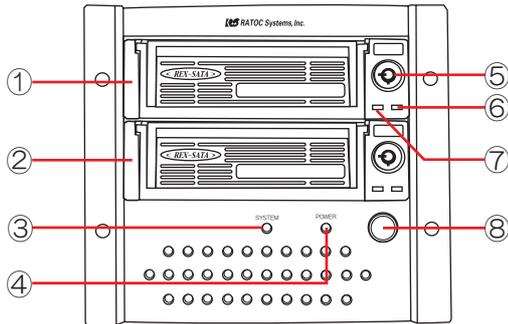
※USBプリンター複合機はプリンター機能のみ対応です。

※USBハブ経由での接続は4台まで可能。ただしUSBプリンターの接続は1台のみとなります。

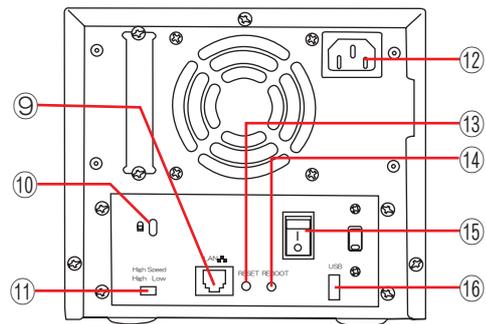
※上記以外の機器（USBスキャナー、カメラ等）には対応していません。

1-2.各部名称

ケース本体前面

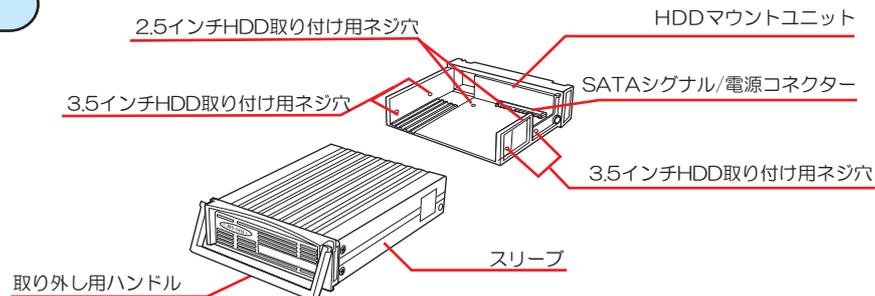


ケース本体背面



①	Slave	RAID1使用時：バックアップ側です。 JBOD使用時：Masterディスクの拡張領域になります。 シングル使用時：ディスク追加専用。ただし、アクセス権の設定はできません。 詳細は、56ページ【13.ハードディスクの追加（シングルモード）】を参照ください。
②	Master	RAID1使用時：Master側です。また、リビルドする場合、リビルド元ディスクを装着します。 詳しくは、73ページ【19.障害が発生した場合は】を参照ください。 JBOD/シングルモード使用時：システム情報を保有するMasterディスクとなります。
③	SYSTEMランプ	システム起動中、オレンジ色に点灯します。
④	POWERランプ	電源が入っている間は緑色に点灯します。
⑤	KEYスイッチ	ハードディスクの電源のON/OFFをおこないます。
⑥	アクセスランプ	ハードディスクへのアクセス時、赤色に点灯します。
⑦	マウントランプ	ハードディスクがマウント時、緑色に点灯します。
⑧	システム起動スイッチ	本製品のシステムを起動するスイッチです。
⑨	LANポート	添付のLANケーブルを接続します。
⑩	セキュリティスロット	盗難防止用の鍵を取付できます。
⑪	FANスイッチ	FANの回転速度を2段階（HIGH/LOW）変更できます。
⑫	電源コネクタ	添付の電源コードを接続します。
⑬	REBOOTボタン	5秒以上押すことで、本製品を初期化します。
⑭	RESETボタン	再起動をおこないます。
⑮	電源スイッチ	本製品の電源をON/OFFします。
⑯	USBポート	USB機器を接続します。対応USB機器は、5ページ【1-1.動作環境】を参照ください。

トレイ



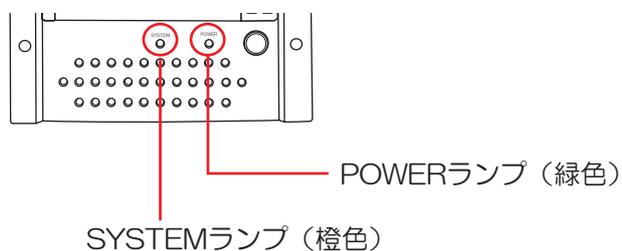
1-3. ケース本体のランプ表示について

本製品には以下のランプを搭載しています。

1. システムランプ
2. トレイランプ

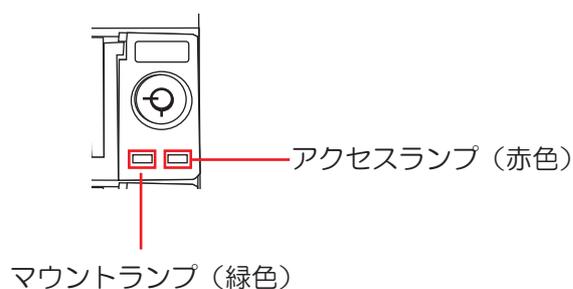
【システムランプ】

SYSTEMランプ（橙色）	POWERランプ（緑色）	状態説明
消灯	消灯	本体電源OFF
点滅	点灯	システムの起動処理中
点灯	点灯	正常動作中



【トレイランプ】

マウントランプ（緑色）	アクセスランプ（赤色）	状態説明
消灯	消灯	本体電源OFFもしくはハードディスクアンマウント時
点滅	点滅	ハードディスク異常発生時
点灯	消灯	ハードディスクアイドル中
点灯	点滅	ハードディスクへアクセス中
点滅	点灯	リビルド中（RAID1使用時のみ）
点滅	消灯	リビルド失敗

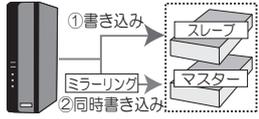
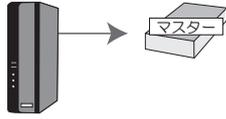


1-4.動作モードについて

本製品の動作モードは以下の通りです。

- ・RAID1（ミラーリング）
- ・JBOD（ラージ）
- ・シングル

<各モードの比較>

動作モード	RAID 1 (ミラーリング)	JBOD (ラージ)	シングル
説明	<p>データをもう一方のHDDに複製するため、1台のHDが物理的破損してもデータは損失しない。</p> 	<p>複数のHDDを1つのドライブに。</p> 	<p>HDD1台で使用。あとから1台追加も可能。</p> 
長所	HDD故障に強い 自動バックアップできる。	大容量化。容量の異なる2台のHDDを使用できる。	容量が足りなくなった場合、上段へHDDを追加できる。
短所	同一容量のHDD使用時、合計の半分となる。	HDD故障時、データ損失	
用途	データを安全かつ確実にバックアップ。 データベース作成、ドキュメントなどのビジネスシーンや写真、音楽などのホームシーンに。	余っているHDDを大容量化して再利用するなどに。	ドライブ別のデータ管理などに。
安全性	◎	△	○
容量UP	×	◎	△
必要なHD台数	同じ容量のHDDを2台※1 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">HDD故障に備え3台目の用意を。</div>	2台	1台/2台
1TBのHD2台装着した場合のディスク容量	1TB	2TB	1TB×2

※1.容量の異なるHDDを組み合わせた場合、使用可能容量は小さい方のディスク容量の半分になります。

1-5.使用文字制限

●管理設定画面上で使用できる文字一覧

本製品の設定画面で設定する下記項目には使用できる文字に制限があります。

項目	文字数	使用できる文字
ホスト名	15文字以内（半角）	0-9、a-z、A-Z、-（ハイフン）
パスワード	16文字以内（半角）	a-z、0-9
ユーザー名	16文字以内（半角）	a-z、0-9 ※先頭に数字をつけることは不可
グループ名	16文字以内（半角）	a-z
共有フォルダ名	16文字以内（半角）	a-z、A-Z
説明	50文字以内（半角）	a-z、A-Z、0-9、 .（ドット）、_（アンダーバー）、 -（ハイフン）、空白
ワークグループ	20文字以内（半角）	a-z
送信者名（メール通知）	25文字以内（全角） 50文字以内（半角）	”（半角ダブルクォーテーション）以外 すべて使用可能、日本語入力可能
件名（メール通知）	25文字以内（全角） 50文字以内（半角）	”（半角ダブルクォーテーション）以外 すべて使用可能、日本語入力可能

●本製品に保存できるファイル名やフォルダー名の文字制限

ファイル名とフォルダー名は半角63文字以内となります。

※ファイル名が「.（ドット）」から始まるファイルは、自動的に隠しファイル属性になります。

1-6.使用上の注意

■注意事項

- 本製品はパソコンにUSB接続して使用することはできません。
- 本製品にハードディスクは添付されていません。
- 本製品の電源をOFFにする場合は、Webブラウザ上の管理設定メニューからおこないます。
- 動作中に本製品の電源スイッチ(本体背面)を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- 本製品のトレイはホットプラグに対応していません。ディスクを交換する際は管理設定メニューのシャットダウンを実行し、本製品の電源が切れてから交換してください。
- セットアップ時や使用モード変更時は、ハードディスクをフォーマットする必要があります。ディスク上のデータは消去されますのでご注意ください。
- 本製品は、DHCPサーバーがある環境では、自動でDHCPサーバーよりIPアドレスが割り当てられるため、本製品のIPアドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCPサーバーのない環境(パソコンにそれぞれ固定のIPアドレスを設定している環境)ではご使用のネットワークに応じたIPアドレスを設定する必要があります。
- 同じパソコンから複数のユーザー名で同時にアクセスすることはできません。
- 本製品はローカルネットワーク上でご使用ください。インターネット経由のアクセスは、サポート対象外になります。
- 同じネットワーク上で本製品を複数台ご利用になる場合は、本製品のホスト名(デフォルト名:sadk2)を他の名称に変更する必要があります。
- 本製品は起動ドライブとして使用できません。(本製品に取り付けたハードディスクからOS起動はできません。)
- NTFSフォーマットはシングルモードのSlaveディスクのみ対応です。管理設定メニューの[ディスクの管理]-[ディスクの管理]からNTFSフォーマットすることはできません。
- FAT32は1ファイル最大4GBまでとなります。
- Jumbo Frame16000対応のハブには接続できません。

■USB機器使用時の注意

- USB2.0(Hi-Speed)でご利用になるには、ご使用のUSBデバイスがUSB2.0(Hi-Speed)に対応している必要があります。
- 接続するハードディスクの対応フォーマットはFAT32、EXT3、NTFSになります。exFATフォーマットには対応していません。
- USBストレージ機器(ハードディスク、USBメモリ、カードリーダー)やカードリーダー搭載プリンターを使用する場合は、本製品が起動してから接続してください。接続したまま本製品を起動するとシステムが起動しません。
- USBハードディスクを取り外す場合は、必ずWebブラウザ上の管理設定メニューからディスクの取り外し操作をおこなってください。
- USBプリンター複合機はプリンター機能のみ対応しています。
- USBプリンター、USBプリンター複合機(プリンター機能のみ)はWindowsのみ対応となります。
- 本製品にハードディスクがマウントされていない状態でプリントサーバー機能は使用できません。
- 接続可能なプリンターは1台のみになります。
- USBハブを使用する場合、4ポートまでのセルフパワータイプを使用してください。

■RAID1モード使用時の注意

- 破損ディスクの交換やRAIDディスクセットを交換する場合は、必ず本製品の電源を切ってから交換してください。
- リビルドの実行は、Webブラウザ上の管理設定メニューからおこなってください。
- リビルド中は本製品の電源を切らないでください。
- RAIDモードを変更する場合、ディスク上のデータは消去されます。
- リビルド中にパソコンのシャットダウン、スタンバイ/休止/スリープ/サスペンド(パソコンの省電力設定)をおこなってもリビルドは中断されません。本製品の電源をOFFにすると、リビルドは中断され、再起動後は最初からリビルドを開始します。
- 障害の発生したディスクを交換する場合、そのディスクと同じ容量のディスク(同型番を推奨)もしくは、それ以上の容量のディスクを使用してください。

■シングルモード使用時の注意

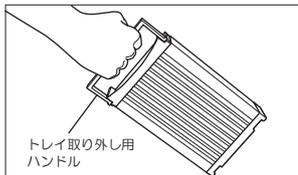
- Master側(下段)には必ず、Masterディスクとなるハードディスクを装着する必要があります。
- Slave側(上段)はハードディスクの追加専用となります。単独では使用できません。
- Masterディスクにのみユーザ固有の共有フォルダを作成することができます。Slaveディスクは全ユーザーがアクセス可能な共有フォルダのみの使用となります。

■交換用トレイの使用上の注意

- 本製品は、REX-SATAリムーバブル専用のトレイです。REX-Dockシリーズおよび他社製品には使用できません
- 弊社製SA-35TRIDE/SA-35TRAIDEシリーズ(IDE変換トレイ)では使用できません。
- トレイに内蔵するハードディスクは、衝撃にきわめて弱いものです。トレイの取り扱いは充分ご注意ください。
- トレイ取り外し用ハンドルはトレイをSATAリムーバブルケースから引き出すために設けられたもので、手さげ用に使うことはできません。

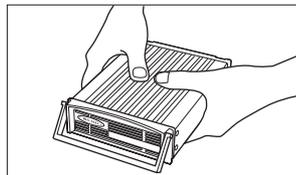
× 間違った持ち方

トレイ取り外し用ハンドルが外れたり、破損する可能性があります。



○ 正しい持ち方

トレイを誤って落下しないよう、本体をしっかり支え、慎重に扱ってください。



- 取り付け作業中および使用中に生じたパソコンあるいはハードディスクの破損や故障、データ消去に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。

■その他

- コンピュータウイルス感染や操作ミスによるデータ損失を防ぐことはできません。
- 停電を起因とするデータ損失を防ぐことはできません。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、予告なく外観または使用の一部を変更する場合があります。
- 本製品を破棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しています。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおこなっておりません。

導入編

2.本製品の設置

2-1.本製品が使えるようになるまでの手順

	Windows	Mac OS
SATAハードディスクをトレイに取り付け	⇒14ページ	
↓		
本製品の設置	⇒16ページ	
↓		
設定画面へのログイン	⇒17ページ	⇒19ページ
↓		
ハードディスクのフォーマット	⇒20ページ	
↓		
基本設定	⇒23ページ	
↓		
準備完了		

ACケーブルとLANケーブルを接続し、電源を入れます。

RAID1(ミラーリング)、JBOD(ラージ)、シングルから使用するモードを選択します。

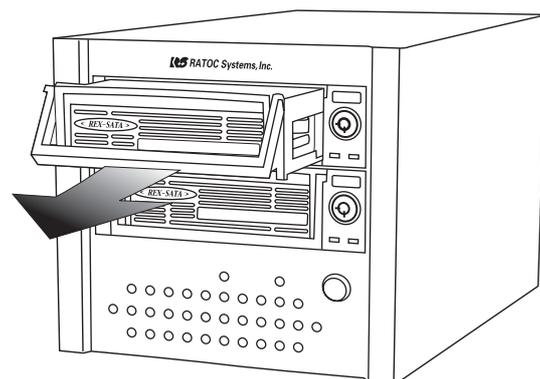
言語、パスワード、ホスト名、時間などの基本設定をおこないます。

2-2.ハードディスクの取り付け方

- 1.トレイ取り出し用ハンドルを持ち、交換用トレイを矢印の方向へ引き出します。

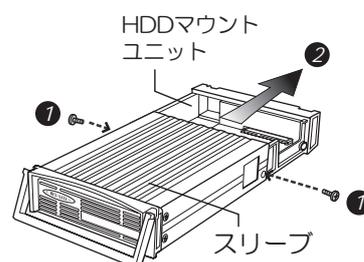
⚠ 注意

- トレイ取り外し用ハンドルは、ハンドル部分のみを持って持ち運びをしないでください。トレイが落下する恐れがあります。
- 下段トレイのトレイ取り外しハンドルが前に引きづらいことがあります。下向きに力が加わらないよう手前に軽く引いてください。



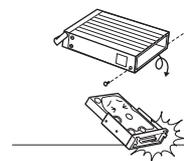
- 2.HDDマウントユニットを取り出します。

- ①スリーブ後方の2箇所のネジを取り外します。
- ②HDDマウントユニットを矢印の方向にスライドし、取り出します。



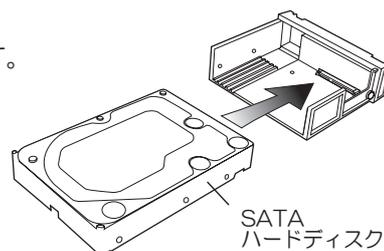
⚠ 注意

- ネジ止めやネジ外しをおこなう際に、スリーブからハードディスクを装着したユニットが滑り出る恐れがあります。落とさないようご注意ください。
- ハードディスクの取り付け・取り外し作業は、平らな場所に本製品を置いて作業してください。



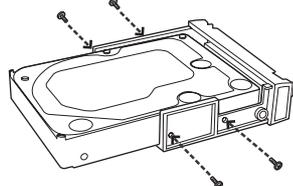
- 3.トレイにSATAハードディスクを装着します。

- ③HDDマウントユニットのコネクタとハードディスクを接続します。

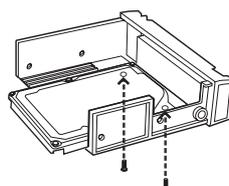


- ④ハードディスクを同梱のネジでしっかりと止めます。

3.5インチドライブの場合



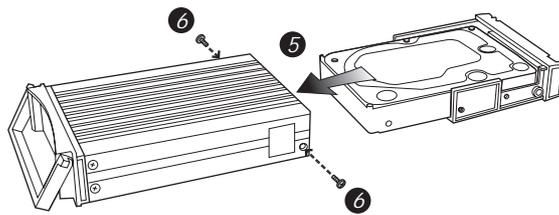
2.5インチドライブの場合



規格外の2.5インチハードディスクで、ネジ穴が合わずネジ止めしづらい場合は、ハードディスクを多少動かしてネジ穴のずれが少ない側からネジ止めます。

⑤HDDマウントユニットを元の位置に戻します。

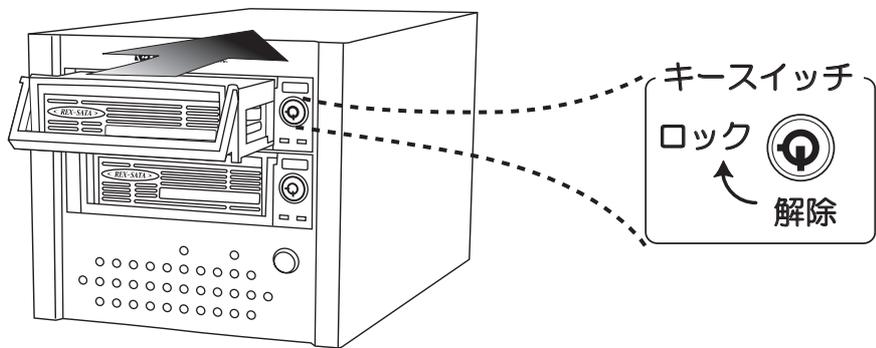
⑥スリーブをネジ止めします



4. 再度、トレイを本体に挿し込み、キースイッチをロックしてください。

RAID1/JBODで使用する場合

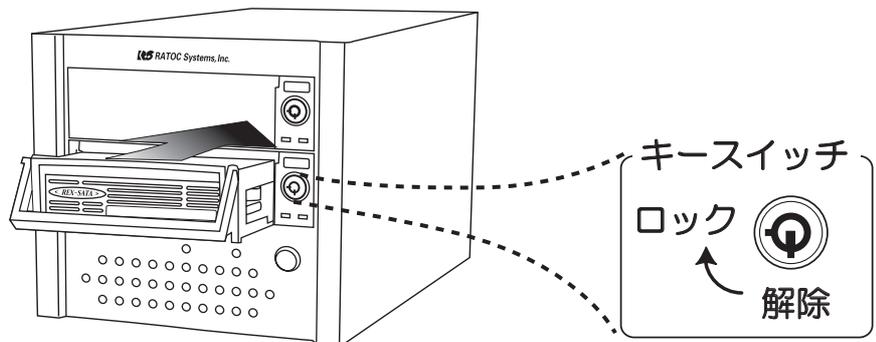
上段と下段にトレイを装着



シングルモードで使用する場合

下段にトレイを装着

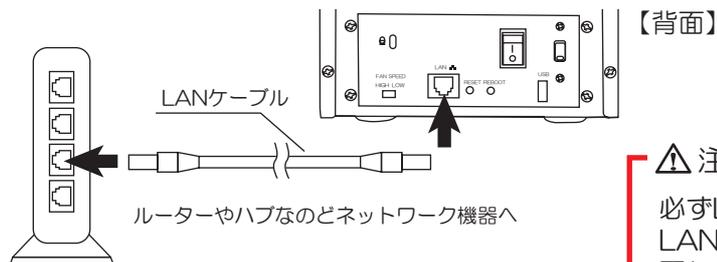
※ハードディスクを2台で使用する場合でも、上段トレイは装着しないでください。（下段のみ装着し、55ページ【13.ハードディスクの追加（シングルモード）】の手順をおこなう必要があります。



以上で、取り付け完了です。
次のページ、【2-3.本製品の設置】へお進みください。

2-3.本製品の設置

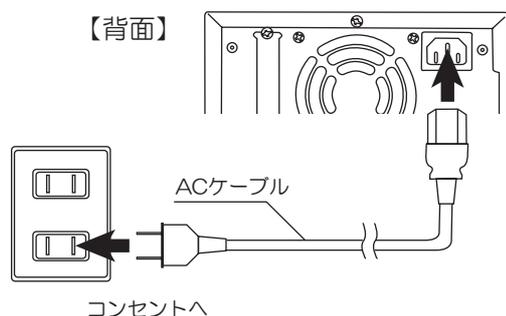
- 1.ネットワーク内のパソコン、ルーターなどが正常に動作していることを確認し、LANケーブルを接続してください



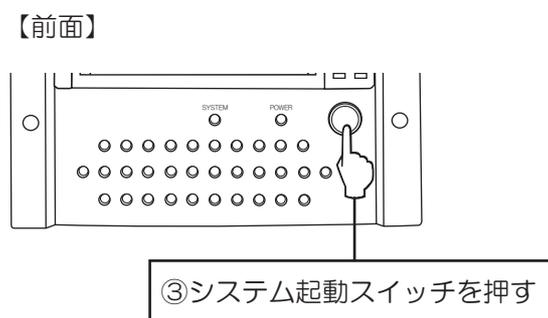
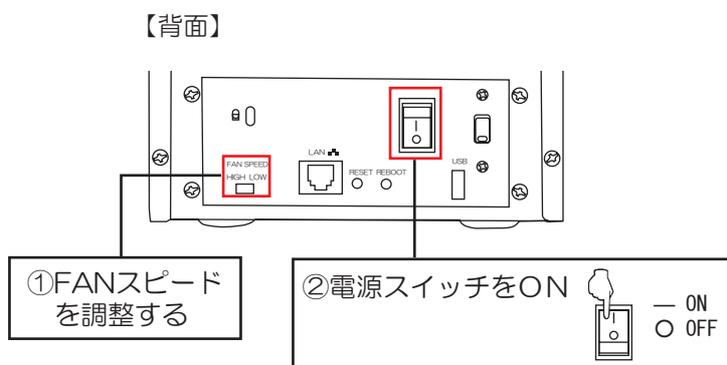
⚠ 注意

必ずLANケーブルを先に接続してください。
LANケーブルを接続する前に電源を入れると、
正しくネットワークに接続できません。

- 2.ACケーブル接続してください。



- 3.背面の電源スイッチを入れ、前面のシステム起動スイッチを押してください。



FAN スピードについて

FANスピードは2段階切替えできます。
※起動中も切替えは可能です。
HIGH: 定格の100%で回転(冷却性重視)
LOW: 定格の60%で回転(静音性重視)

- 4.システムの起動処理が完了すると、“SYSTEMランプ”は点滅(約2分間)から点灯に変わります。

※“SYSTEMランプ”が点灯しない場合は、75ページ【■本製品が検出されない場合(Windows)】を参照ください。

以上で、本製品の設置は完了です。次に、本製品の設定をおこないます。

Windowsの場合 ⇒ 次のページへお進みください
Macの場合 ⇒ 19ページへお進みください

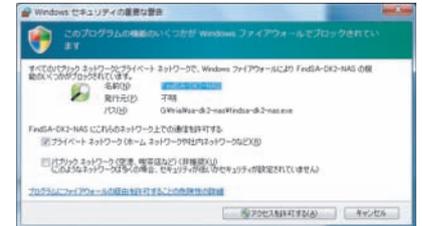
3. 設定画面へのログイン方法

3-1. 【Windows編】

1. CD-ROMをパソコンにセットし、「FindSA-DK2-NAS.exe」をダブルクリックして起動します。



※セキュリティソフトによりブロックされる場合は、ブロックを解除してください。（右の画面例はWindows 7の場合です。）



Server2008R2の場合

Windows Server2008R2のデフォルト設定では、「FindSA-DK2-NAS」で本製品を検出することができません。以下の手順で、Windowsファイアウォールが新しいプログラムをブロックするときに通知する設定に変更してください。

1.[コントロールパネル]-[システムのセキュリティ]-[ファイアウォールの状態の確認]を開きます。



2. 「Windowsファイアウォールの有効化または無効化」をクリックします。

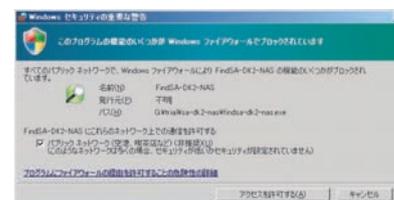


3. ネットワーク環境の設定に合わせて「Windowsファイアウォールが新しいプログラムをブロックしたときに通知を受け取る」にチェックを入れます。

※ “ネットワークの場所の設定” のどちらにチェックを入れるかは、お使いのネットワーク環境によって変わりますので、詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

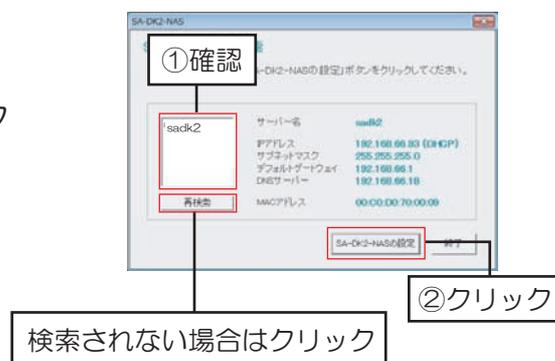


4. 設定後、通知画面の「アクセスを許可する」をクリックします。



2.自動で本製品が検出されますので、“sack2”と表示されているか確認します。
本製品を選択し、「SA-DK2-NASの設定」をクリックします。

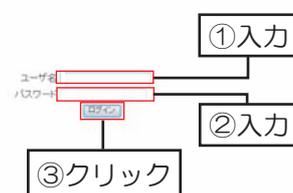
※検出されない場合は「再検索」をクリック。
それでも検出されない場合は、75ページ【■本製品が検出されない場合（Windows）】を参照ください。



3.ログイン画面に移動します。

※ブラウザが日本語表示できない場合は英語表示になります。

- 1.ユーザ名を入力します。（デフォルト：admin）
- 2.パスワードを入力します。（デフォルト：admin）
- 3.「ログイン」をクリックします。



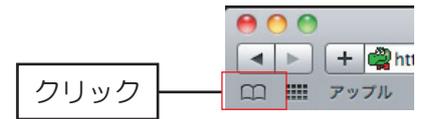
IPアドレスが分かっている場合、Webブラウザの“アドレス”欄にIPアドレスを入力し、本製品の管理設定メニューへアクセスすることができます。
※右図はIPアドレスが“192.168.66.51”の場合の入力例です。



以上で、ログイン完了です。
次に、20ページ【4.ハードディスクの設定】へお進みください。

3-2. 【Mac OS編】

1. Webブラウザ（Safari）を開き、「ブックマーク」をクリックします。



2. 「Bonjour」を選択し、「sadc2（デフォルト名）」をクリックします。

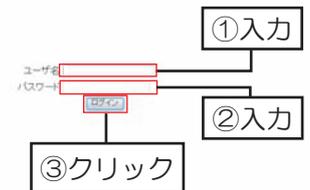
※検出されない場合は、76ページ【■本製品が検出されない場合（Mac）】を参照ください。



3. ログイン画面に移動します。

※ブラウザが日本語表示できない場合は英語表示になります。

1. ユーザー名を入力します。（デフォルト：admin）
2. パスワードを入力します。（デフォルト：admin）
3. 「ログイン」をクリックします。



IPアドレスが分かっている場合、Webブラウザの“アドレス”欄にIPアドレスを入力し、本製品の管理設定メニューへアクセスすることができます。
※右図はIPアドレスが“192.168.66.51”の場合の入力例です。



次に、20ページ【4.ハードディスクの設定】へお進みください。

4. ハードディスクの設定

使用したい動作モードを選択し、ハードディスクの設定をおこないます。
設定を完了するには、ハードディスクのフォーマットが必要です。
ハードディスク上のデータは消去されますのでご注意ください。

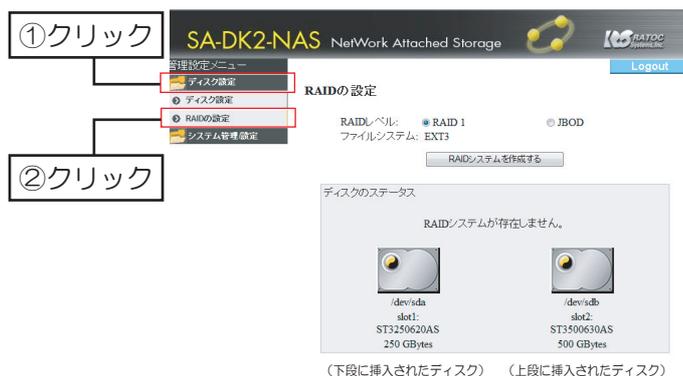
RAID1/JBODモードを使用する場合 ⇒20ページ（本ページ）へお進みください。
シングルモードを使用する場合 ⇒21ページへお進みください。

4-1.RAID1/JBODモードを使用する場合

1.管理設定メニューの[ディスク設定]-[RAIDの設定]を開きます。

左側：下段に挿入されたディスクを表示

右側：上段に挿入されたディスクを表示



2.RAID1もしくはJBODを選択します。

3.「RAIDシステムを作成する」をクリックします。

4.確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。



5.RAID1もしくはJBODの作成が開始されます。
作成完了後、自動的に本製品の再起動が始まります。
再起動終了後、再ログインしてください。

※Safariを使用している場合、自動でログイン画面へ戻りません。
本製品のSYSTEMランプの点滅が点灯に変わったこと（約2分）を確認してから、「ログイン」をクリックしてください。



以上で、ハードディスクの設定は完了です。

4-2. シングルモードを使用する場合

Master（下段）に装着したハードディスク1台で使用します。
ハードディスクの容量が足りなくなった場合、上段へハードディスクを追加することもできます。
ただし、上段のディスクはすべてのユーザーがアクセス可能な共有フォルダとしての使用となります。

1. 管理設定メニューの[ディスク設定]-[ディスクの設定]を開きます。

2. フォーマット（EXT3/FAT32）選択をします。
※FAT32は1ファイルのサイズが最大4GBまでとなります。

3. 「フォーマット」をクリックします。

4. 確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。

5. フォーマットが開始されます。
フォーマット完了後、自動的に本製品の再起動が始まります。
再起動終了後、再ログインしてください。

※2台目のハードディスクを使用する場合は、56ページ【13.ハードディスクの追加（シングルモード）】を参照ください。

※Safariを使用している場合、自動でログイン画面へ戻りません。本製品のSYSTEMランプの点滅が点灯に変わったこと（約2分）を確認してから、「ログイン」をクリックしてください。

以上で、ハードディスクの設定は完了です。



4-3.省電力モードの設定⇒現在ご利用いただけません。

ハードディスクにアクセスが一定時間ない場合、自動的にハードディスクの回転を停止させます。

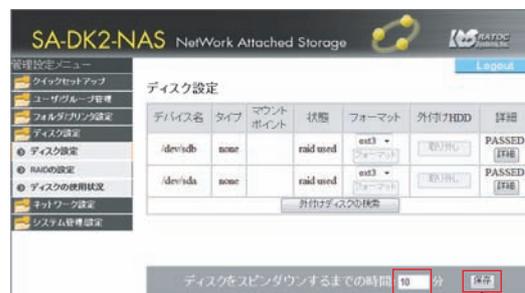
1.管理設定メニューの[ディスク設定]-[ディスク設定]を開きます。

2.“ディスクをスピンドアウンするまでの時間”へ、ハードディスクの回転を止めるまでの時間を入力します。(最大99分)



スピンドアウンを無効にする方法

“ディスクをスピンドアウンするまでの時間”を0分と設定することで、スピンドアウンは無効となります。



①入力

②クリック

3.「保存」をクリックし、設定完了です。

設定時間内にハードディスクにアクセスしていなくても、本製品のシステムがハードディスクへアクセスした場合、ハードディスクの回転は停止しません。

また、ハードディスク停止中に本製品へアクセスしていなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合、ハードディスクが回転する場合があります。

⚠ 注意

2011年7月現在、本設定は動作しません。

ファームウェアアップデートにより省電力モードに対応する予定です。最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。

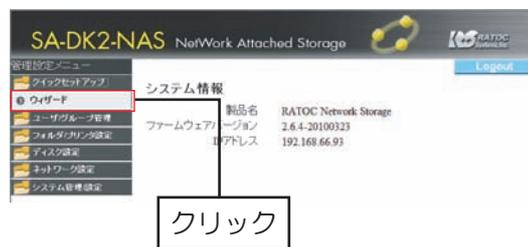
<http://www.ratocsystems.com>

5. 基本設定

本製品を使用させていただく上で、必要最低限の設定を簡単におこなうことができます。

設定画面上で使用できる文字には制限があります。
詳しくは9ページ【使用文字制限】を参照ください。

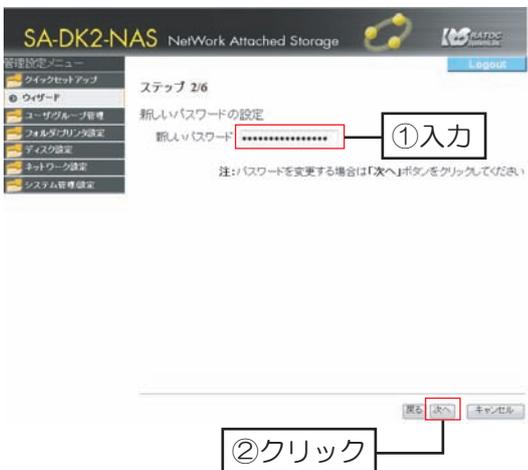
1.管理設定メニューの[クイックセットアップ]-
[ウィザード]を開きます。



2.設定画面に表示する言語をプルダウンより選択し、
「次へ」をクリックします。

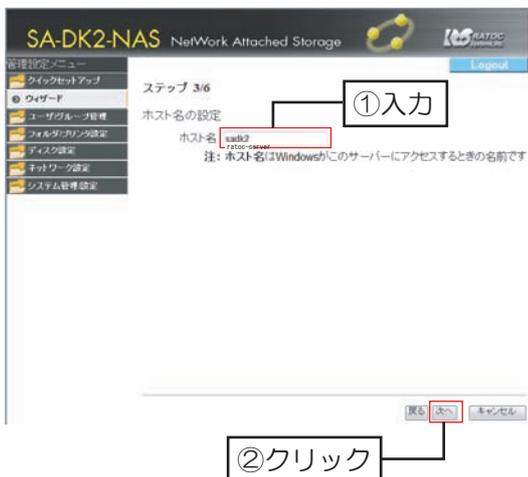


3.デフォルトパスワード (admin) を変更する場合は、
任意のパスワードを入力し、「次へ」をクリック
します。変更しない場合は、入力せず「次へ」を
クリックします。



⚠ 注意
パスワードは忘れないようしっかり管理しておいてください。
設定したパスワードを忘れた場合、システムの初期化が必要
になり、ハードディスクの中身も消去されます。詳しくは、
78ページ【出荷時の設定に戻すには】を参照ください。

4. “ホスト名” にローカルネットワーク上で重複しない
名前（例は “ratoc-server”）を入力し、「次へ」を
クリックします。



- 5.本製品のIPアドレスを設定できます。
初期設定では自動的にIPアドレスを取得する設定になっています。
「次へ」をクリックします。



クリック

- 6.時刻設定をします。
“日付” “時間” “タイムゾーン” をプルダウンより選択し設定します。
「次へ」をクリックします。



①プルダウンより選択

②クリック



NTPサーバーを利用して時刻設定する場合、“NTPサーバー”のプルダウンよりNTPサーバーを選択します。

- 7.設定した内容を確認して、「保存」をクリックします。



クリック

以上で、本製品は使用できます。

操作編

6. ユーザーの設定

6-1. ユーザーの登録

新規ユーザーの作成は“ステップ1【ユーザー名の設定】”、“ステップ2【グループの設定】”、“ステップ3【アクセス権の設定】”の3つのステップでおこないます。

設定画面上で使用できる文字には制限があります。
詳しくは9ページ【使用文字制限】を参照ください。

ステップ1【ユーザー名の設定】

新規に登録するユーザー（例は“user1”）を設定します。

1. 管理設定メニュー[ユーザ/グループ管理]-[ユーザ管理]を開き、「新規ユーザの作成」をクリックします。



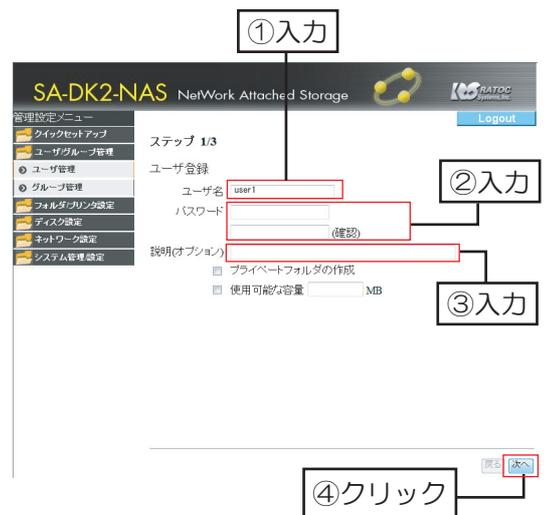
2. “ユーザ名”に「user1」と入力します

3. 任意のパスワードを“パスワード”に入力します。

4. ユーザーを判別するために説明を加える場合は“説明（オプション）”に入力します。説明加えない場合は、入力する必要はありません。

※ “プライベートフォルダの作成”については38ページ【プライベートフォルダの作成/削除】を参照ください。

5. 「次へ」をクリックします。

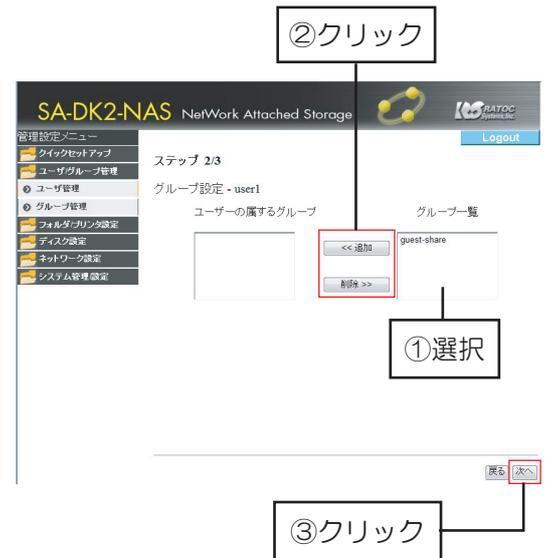


ユーザーの作成のみをおこなう場合、“ステップ2【グループの設定】”や“ステップ3【アクセス権の設定】”はおこなわず、「次へ」または「完了」ボタンをクリックして進めてください。

ステップ2【グループの設定】

登録するユーザーをグループに加えます。

1. “グループ一覧” よりグループを選択します。
2. 「追加」をクリックします。
3. 追加されたグループが”ユーザーの属するグループ”へ移動したことを確認します。
これで、“user1”は選択したグループのメンバーとなります。
4. 「次へ」をクリックします



ステップ3【アクセス権の設定】

登録ユーザーに対する共有フォルダーのアクセス権を設定します。

※ここでは共有フォルダーの作成はできません。フォルダーの作成は、36ページ【8-2.共有フォルダーの作成】でおこないます。

1. “アクセス不可” より共有フォルダーを選択します。
2. 「読み込み専用」または「書き込み可」のどちらかをクリックします。



ボタンの説明

- 「読み込み専用」
“アクセス不可”より選択した共有フォルダーに対して、登録したユーザーに読み込みのみ権限を与えます。
- 「書き込み可」
“アクセス不可”より選択した共有フォルダーに対して、登録したユーザーに読み書き可能な権限を与えます。
- 「消去」
“アクセス可”より選択した共有フォルダーへのアクセス権を削除します。

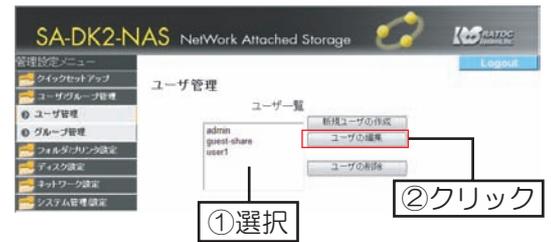


3. 選択した共有フォルダーが“アクセス可”へ移動したことを確認します。
これで、“user1”は選択した共有フォルダーへのアクセスが可能となります。
4. 「保存」をクリックしてユーザーの登録は完了です。

6-2.ユーザーの設定変更

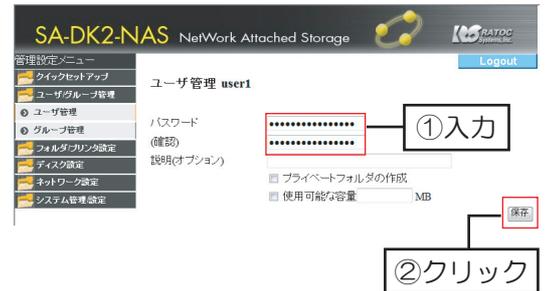
ユーザーのパスワード変更やプライベートフォルダーの作成をおこないます。

- 1.管理設定メニューの[ユーザ/グループ管理]-[ユーザ管理]を開きます。
- 2.“ユーザー一覧”より変更したいユーザーを選択し、「ユーザの編集」をクリックします。



パスワードを変更したい場合

- 1.“パスワード”へ新しいパスワードを入力します。
- 2.「保存」をクリックします。



プライベートフォルダーを作成したい場合

プライベートフォルダの作成については38ページ【プライベートフォルダーの作成/削除】を参照ください。

6-3.ユーザーの削除

登録しているユーザーを削除します

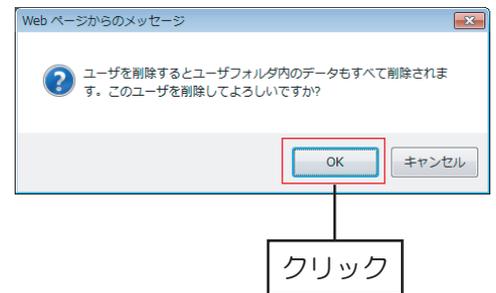
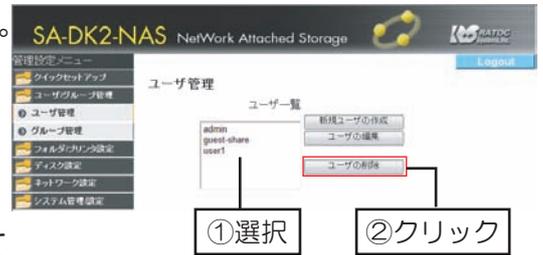
1.本製品の管理設定メニュー[ユーザ/グループ管理]-[ユーザ管理]を開きます。

2.“ユーザー一覧”より削除したいユーザーを選択します。

3.ユーザーが選択された状態で「ユーザの削除」をクリックします。

※削除するユーザーがプライベートフォルダーを作成している場合、フォルダー内のデータもすべて削除されます。削除する前にバックアップをしてください。

4.ユーザー削除するユーザーを確認後、「OK」をクリックして完了です。



7.グループの設定

7-1.新規グループの作成

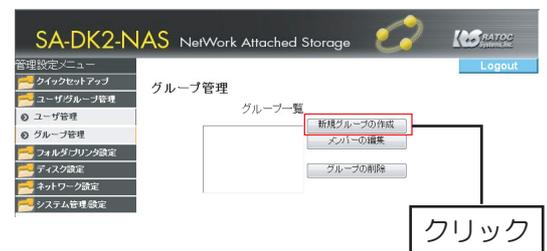
新規グループ作成は“ステップ1【グループ名の設定】”、“ステップ2【グループの編集】”、“ステップ3【アクセス権の設定】”の3つのステップでおこないます。

設定画面上で使用できる文字には制限があります。
詳しくは9ページ【使用文字制限】を参照ください。

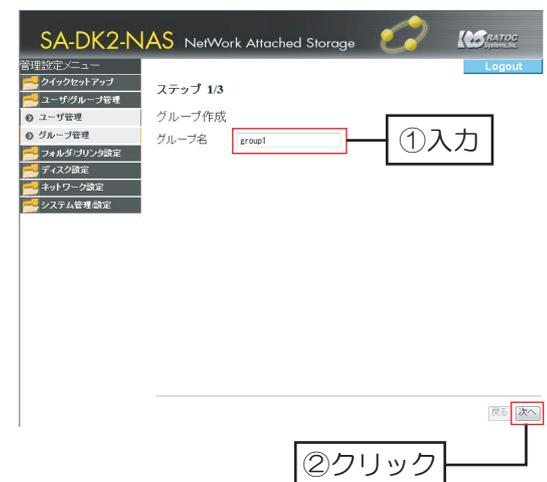
ステップ1【グループ名の設定】

新規に登録するグループ（例は“group1”）を設定します。

1.管理設定メニューの[ユーザ/グループ管理]-
[グループ管理]を開き、「新規グループの作成」
をクリックします。



2.“グループ名”へ「group1」とを入力し、「次へ」
をクリックします。

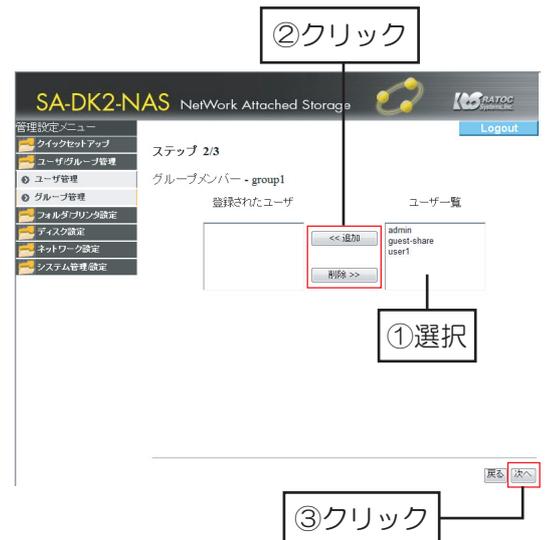


グループ作成のみをおこなう場合、“ステップ2【グループの編集】”と“ステップ3【アクセス権の設定】”にて設定はおこなわず、「次へ」または「完了」ボタンをクリックして進めてください。

ステップ2【グループの編集】

作成したグループに加えるメンバーを編集します。

1. “ユーザー一覧” よりユーザーを選択します。
2. 「追加」をクリックします。
- 3.追加されたユーザーが”登録されたユーザ”へ移動したことを確認します。
4. 「次へ」をクリックします。



ステップ3【アクセス権の設定】

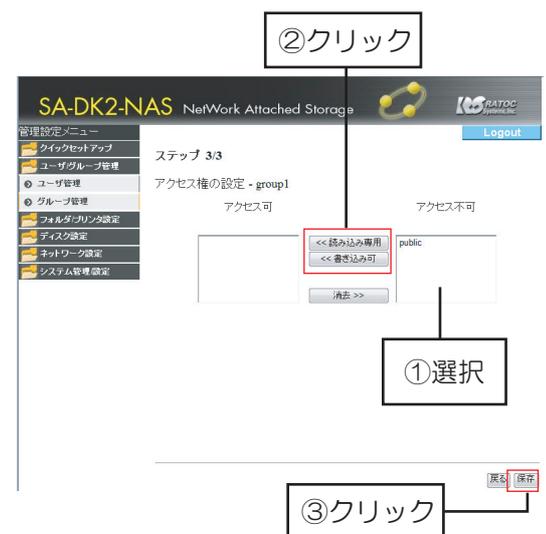
作成したグループに対する共有フォルダーのアクセス権を設定します。

1. “アクセス不可” より共有フォルダーを選択します。
2. 「読み込み専用」または「書き込み可」のどちらかをクリックします。



ボタンの説明

- 「読み込み専用」
“アクセス不可” より選択した共有フォルダーに対して、登録したグループに読み込みのみ権限を与えます。
- 「書き込み可」
“アクセス不可” より選択した共有フォルダーに対して、登録したグループに読み書き可能な権限を与えます。
- 「消去」
“アクセス可” より選択した共有フォルダーへのアクセス権を削除します。



- 3.選択したフォルダーが“アクセス可”へ移動したことを確認します。
これで、“group1”のメンバーは選択した共有フォルダーへのアクセスが可能となります。
4. 「保存」をクリックして新規グループの作成は完了です。

7-2.メンバーの編集

グループに所属しているメンバーを編集します。

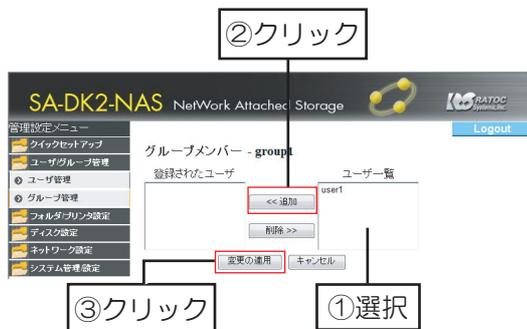
1.管理設定メニューの[ユーザ/グループ管理]-[グループ管理]を開きます。

2.“グループ一覧” からグループ名を選択し、「メンバーの編集」をクリックします。



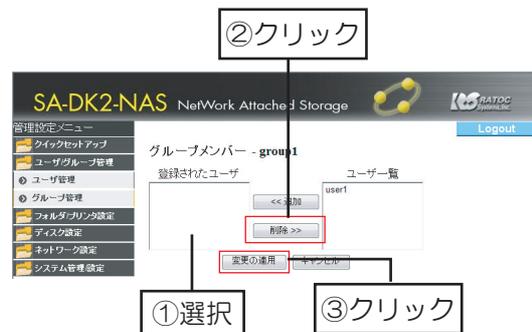
グループにユーザーを追加する場合

- 3.“ユーザー一覧” よりユーザーを選択します。
- 4.「追加」をクリックします。
- 5.追加されたユーザーが“登録されたユーザ”へ移動したことを確認します。
- 6.「変更の適用」をクリックして編集完了です。



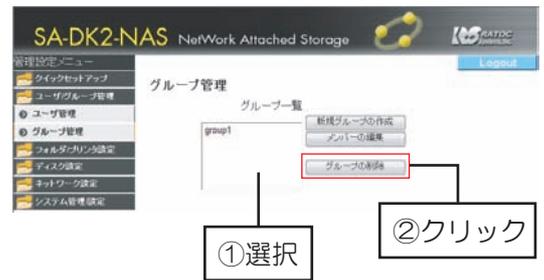
グループからユーザーを外す場合

- 3.“登録されたユーザ” よりユーザーを選択します。
- 4.「削除」をクリックします。
- 5.削除したユーザーが“ユーザー一覧”へ移動したことを確認します。
- 6.「変更の適用」をクリックして編集完了です。



7-3.グループの削除

- 1.管理設定メニューの[ユーザ/グループ管理]-[グループ管理]を開きます。
- 2.“グループ一覧”より削除したいグループを選択します。
- 3.「グループの削除」をクリックします。



- 4.削除の確認画面が表示されますので「OK」をクリックします。



以上で、グループの削除は完了です。

8.共有フォルダーの設定

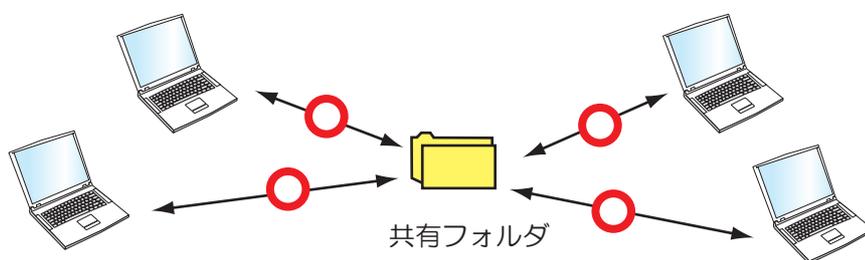
8-1.共有フォルダーについて

■共有フォルダーのアクセス権

本製品の管理設定メニューで作成できる共有フォルダーは「全てのユーザーで共有できるフォルダー」と「特定のユーザーでのみ共有できるフォルダー」と「プライベートフォルダー」の3種類です。

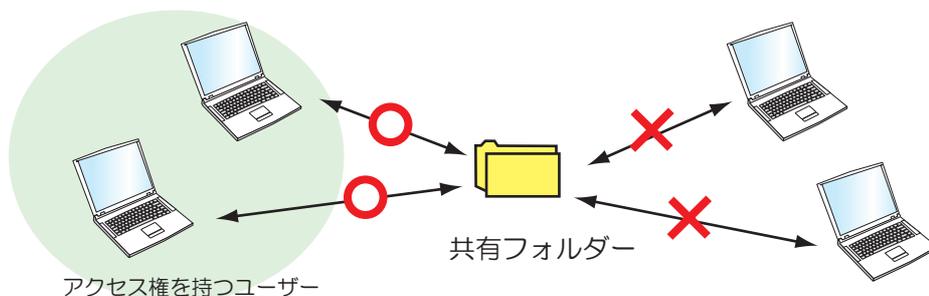
すべてのユーザーで共有するフォルダー

同一ネットワークに接続されているすべてのパソコンから自由にファイルの読み書きができる。本製品に初期登録されている「guest-share」はすべてのユーザーで共有となっています。このフォルダーの作成は、“アクセス権の設定”もしくは“共有フォルダ作成”でおこなえます。



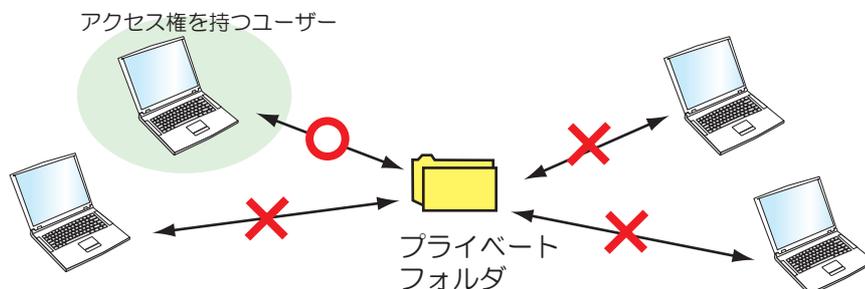
特定のユーザーで共有するフォルダー

設定した特定のユーザーのみが読み書きできる共有フォルダーです。この共有フォルダーにアクセスするためには、ユーザー名、パスワードの入力が必要です。特定のユーザー以外でも共有フォルダーの存在を知ることができますが、中に入ってファイルを見たり、ファイルやフォルダーを作成することはできません。このフォルダーの作成は、“アクセス権の設定”もしくは“ユーザ/グループ/共有フォルダーの作成や編集”でおこなえます。



プライベートフォルダー

特定の単一ユーザーのみがアクセス権を持つフォルダーで、ユーザー名がフォルダー名となります。プライベートフォルダーはアクセス権の設定を変更できません。作成は“ユーザの作成”もしくは“ユーザの編集”でおこなえます。



■ ネットワーク上での表示

本製品や本製品に接続したUSBハードディスクへのファイルの書き込みはネットワーク上からおこないます。

以下は、ネットワーク上から本製品にアクセスした場合に、デフォルトで作成されている共有フォルダーの例となります。

共有フォルダ名	説明
admin	本製品にデフォルトで作成されるプライベートフォルダーです。管理者のみアクセス可能で、アクセス権の設定はできません。
guest-share	本製品にデフォルトで作成される共有フォルダーです。すべてのユーザがアクセスできます。
public	本製品にデフォルトで作成される共有フォルダーです。デフォルトでは管理者のみアクセスできます。アクセス権の設定を変更することができます。



シングルモード使用時、追加したディスクの共有フォルダー名について

Slave（上段）ディスクは、すべてのユーザーがアクセス可能な共有フォルダーとしての使用となります。フォルダー名は「sd2」と表示されます。

8-2.共有フォルダーの作成

新しい共有フォルダー作成は“ステップ1【共有フォルダー名の設定】”、“ステップ2【アクセス権の設定】”、“ステップ3【NFS共有の設定】”の3つのステップでおこないます。

設定画面上で使用できる文字には制限があります。
詳しくは9ページ【使用文字制限】を参照ください。

ステップ1【共有フォルダー名の設定】

新規に登録する共有フォルダー（例は“folder”）を設定します。

- 1.管理設定メニューの[フォルダ/プリンタの設定]-[共有フォルダ設定]を開き、「新規共有フォルダの作成」をクリックします。



- 2.“共有フォルダ名”へ「folder」と入力します。



登録する共有フォルダーに説明を入れる場合は
“説明（オプション）”欄に記入してください。



- 3.「次へ」をクリックします。



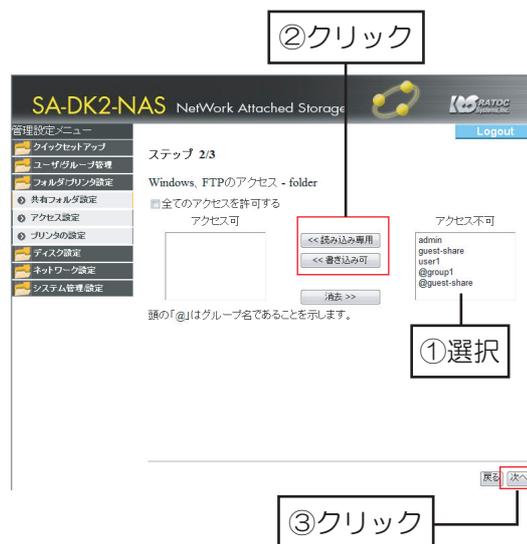
共有フォルダー作成のみをおこなう場合、“ステップ2【アクセス権の設定】”や“ステップ3【NFS共有の設定】”にて設定はおこなわず、「次へ」や「完了」ボタンをクリックして進めてください。

ステップ2【アクセス権の設定】

1. “アクセス不可” よりユーザーまたはグループ名（頭に@がある名前）を選択します。
2. 「読み込み専用」または「書き込み可」のどちらかをクリックします。

 ボタンの説明

- 「読み込み専用」
“アクセス不可” より選択したユーザーまたはグループに対して、登録した共有フォルダーに読み込みのみ権限を与えます。
- 「書き込み可」
“アクセス不可” より選択したユーザーまたはグループに対して、登録した共有フォルダーに読み書き可能な権限を与えます。
- 「消去」
“アクセス可” より選択したユーザーまたはグループのアクセス権を削除します。



3. 選択したユーザーが“アクセス可” に移動したことを確認します。
これで、選択したユーザーは“folder” へのアクセスが可能となります。

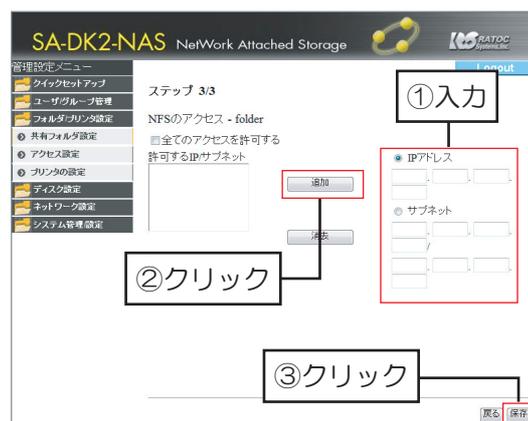


“全てのアクセスを許可する” にチェックを入れると、SMB、FTPクライアントからのアクセスを全て許可します。

4. 「次へ」をクリックします。

ステップ3【NFS共有の設定】

1. “IPアドレス” もしくは“サブネット” のどちらかを選択し、アクセスを許可したいIPアドレスもしくはサブネットの範囲を入力します。
2. 「追加」をクリックします。
3. “許可するIP/サブネット” に入力した数字が表示されたことを確認します。
これで、入力されたIPアドレスもしくはサブネット範囲のユーザーは“folder” へのアクセスが可能となります。



“全てのアクセスを許可する” にチェックを入れると、NFSクライアントからのアクセスをすべて許可します。

4. 「保存」をクリックして設定完了です。

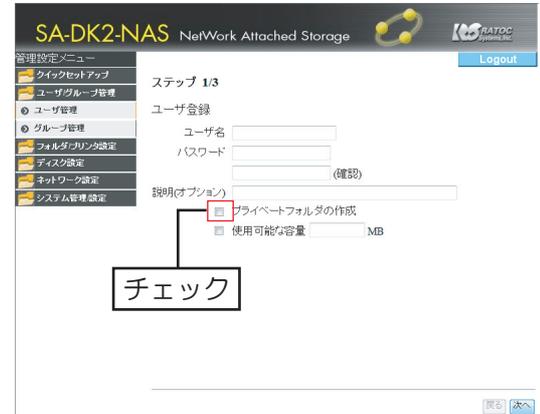
8-3.プライベートフォルダーの作成/削除

■プライベートフォルダーの作成

ユーザーのみアクセスできるフォルダーを作成したい場合におこないます。
作成方法には以下の2通りがあります。

ユーザーの登録時

- 1.管理設定メニューの[ユーザ/グループ管理]-[ユーザ管理]を開きます。
 - 2.[新規ユーザの作成]をクリックします。
 - 3.【ステップ1-ユーザー登録】で“プライベートフォルダーの作成”にチェックを入れ、登録を完了します。
- 以上で、プライベートフォルダーの作成は完了です。



ユーザーの編集時

- 1.管理設定メニューの[ユーザ/グループ管理]-[ユーザ管理]を開き、“ユーザー一覧”より変更したいユーザーを選択し、[ユーザの編集]をクリックします。
 - 2.“プライベートフォルダの作成”にチェックを入れます。
 - 3.「保存」をクリックします。
- 以上で、プライベートフォルダーの作成は完了です。



作成したプライベートフォルダーの使用容量を制限したい場合

“プライベートフォルダの作成”にチェックを入れた後、“使用可能な容量”にもチェックを入れ、制限する容量を入力します。

■プライベートフォルダーの削除

削除すると、プライベートフォルダー内のデータもすべて消去されます。削除する前にバックアップをしてください。

- 1.管理設定メニューの[ユーザ/グループ管理]-[ユーザ管理]を開き、“ユーザー一覧”より変更したいユーザーを選択し、[ユーザの編集]をクリックします。
 - 2.“プライベートフォルダの作成”に入っているチェックを外します。
 - 3.「保存」をクリックします。
- 以上で、プライベートフォルダーの削除は完了です。



8-4.共有フォルダーへのアクセス方法

本製品の共有フォルダーにアクセスする手順を説明します。

Windows 7	⇒ 39ページ (本ページ)
Windows Vista	⇒ 40ページ
Windows XP	⇒ 41ページ
Windows 2000	⇒ 43ページ
Mac OS X 10.6/10.5	⇒ 45ページ
Mac OS X 10.4	⇒ 46ページ

【Windows編】

■Windows 7の場合

※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合にアクセスする例です。

- 1.[スタート]を開き「プログラムとファイルの検索」に「¥¥ratoc-server」と入力し、「enter」キーを押す。



- 2.本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
※ご使用の環境によって、画面表示が異なります。



ネットワークドライブの割り当てをおこなうには

ネットワークドライブに割り当てると、次回パソコン起動時から自動的にログインできます。

※パソコン起動時に、本製品がネットワークに接続されていない、もしくは電源がOFFの状態になっている時は、「ネットワークドライブに再接続できませんでした」と表示されます。

- 1.上記の手順で共有フォルダーの一覧を表示します。
- 2.ネットワークドライブに割り当てる共有フォルダーのアイコンを右クリックします。
- 3.「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。
- 4.“ドライブ”よりドライブ文字を選択します。
- 5.「完了」をクリックします。



- 6.「コンピューター」内にSA-DK2-NASのネットワークドライブのアイコンが表示されていれば完了です。



以降、このアイコンをクリックすると、共有フォルダーを開くことができます。

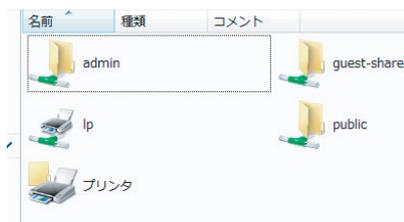
■Windows Vistaの場合

※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合にアクセスする例です。

- 1.[スタート]を開き「プログラムとファイルの検索」に「¥¥ratoc-server」と入力し「enter」キーを押す



- 2.本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
※ご使用の環境によって、画面表示が異なります。



ネットワークドライブの割り当てをおこなうには

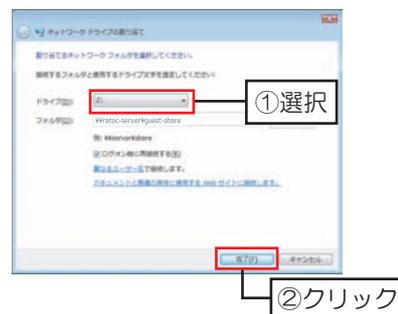
ネットワークドライブに割り当てると、次回パソコン起動時から自動的にログインできます。

※パソコン起動時に、本製品がネットワークに接続されていない、もしくは電源がOFFの状態になっている時は、「ネットワークドライブに再接続できませんでした」と表示されます。

- 1.上記の手順で共有フォルダーの一覧を表示します。
- 2.ネットワークドライブに割り当てる共有フォルダーのアイコンを右クリックします。
- 3.「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。



- 4.“ドライブ”よりドライブ文字を選択します。
- 5.「完了」をクリックします。



- 6.「コンピュータ」内にSA-DK2-NASのネットワークドライブのアイコンが表示されていれば完了です。



以降、このアイコンをクリックすると、共有フォルダーを開くことができます。

■Windows XPの場合

※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合にアクセスする例です。

1.[スタート]メニューから[マイネットワーク]を
右クリックし、「コンピュータの検索」を
クリックします。

※64bit版では「検索」-「コンピュータまたは人」-
「ネットワークコンピュータ」を開きます。

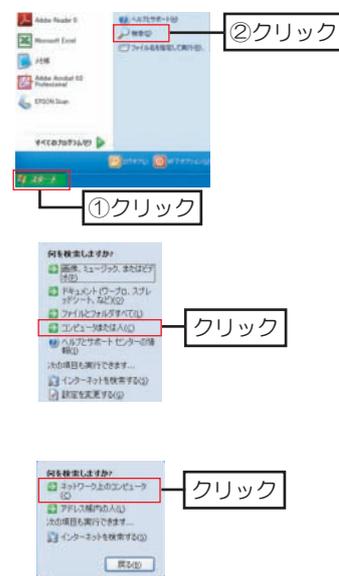


[スタート]メニューに[マイネットワーク]の表示がない場合

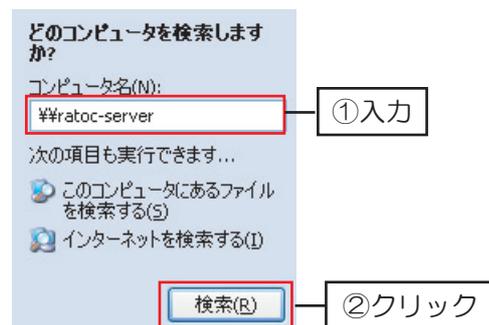
1.[スタート]メニューを開き、「検索」をクリックします。

2.“何を検索しますか？”で「コンピュータまたは人」を
クリックします。

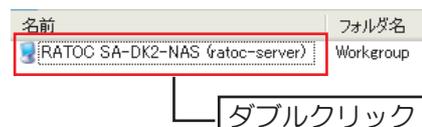
3.“何を検索しますか？”で「ネットワーク上のコンピュータ」
をクリックします。



2.“コンピュータ名”に「¥¥ratoc-server」と入力し、
「検索」をクリックします。



3.本製品が検出されますので、ダブルクリックします。
※ご使用の環境によって、画面表示は異なります。



4.本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
※ご使用の環境によって、画面表示は異なります。





ネットワークドライブの割り当てをおこなうには

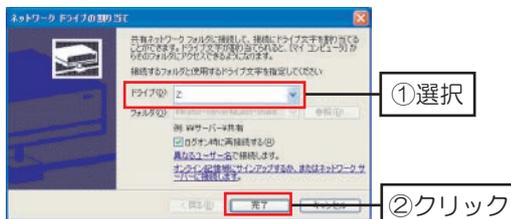
ネットワークドライブに割り当てると、次回パソコン起動時から自動的にログインできます。

※パソコン起動時に、本製品がネットワークに接続されていない、もしくは電源がOFFの状態になっている時は、「ネットワークドライブに再接続できませんでした」と表示されます。

- 1.前ページの手順で共有フォルダーの一覧を表示します。
- 2.本製品の登録している共有フォルダーのアイコンを右クリックします。
- 3.「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。



4. “ドライブ” よりドライブ文字を選択します。
- 5.「完了」をクリックします。



- 6.「マイコンピュータ」内にSA-DK2-NASのネットワークドライブのアイコンが表示されていれば完了です。

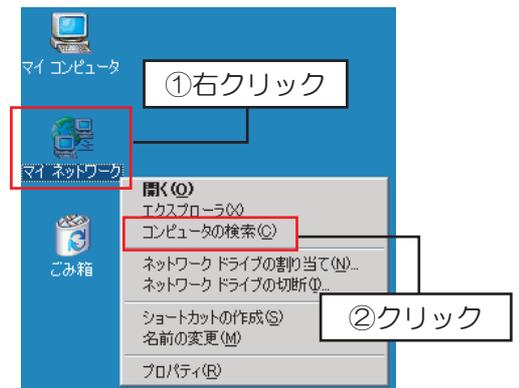


以降、このアイコンをクリックすると、共有フォルダーを開くことができます。

■Windows 2000の場合

※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合にアクセスする例です。

1. 「マイネットワーク」を右クリックし、「コンピュータの検索」をクリックします。



2. “コンピュータ名”に「¥¥ratoc-server」と入力し「検索開始」をクリックします。



3. 本製品が検出されますので、ダブルクリックします。
※ご使用の環境によって、画面表示は異なります。



4. 本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
※ご使用の環境によって、画面表示は異なります。





ネットワークドライブの割り当てをおこなうには

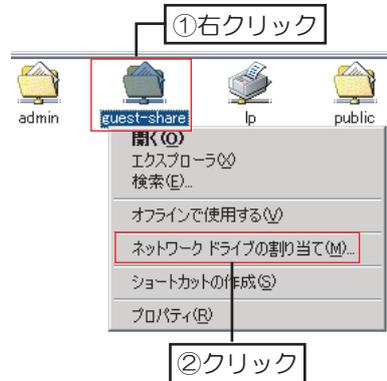
ネットワークドライブに割り当てると、次回パソコン起動時から自動的にログインできます。

※パソコン起動時に、本製品がネットワークに接続されていない、もしくは電源がOFFの状態になっている時は、「ネットワークドライブに再接続できませんでした」と表示されます。

1前ページの手順で共有フォルダーの一覧を表示します。

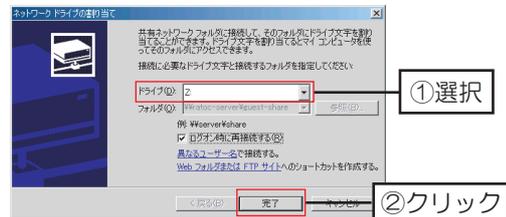
2.本製品の登録している共有フォルダーのアイコンを右クリックします。

3.「ネットワークドライブの割り当て」をクリックします。

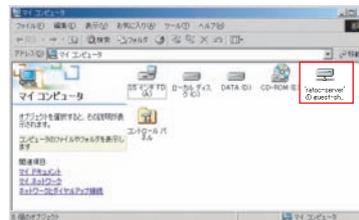


4. “ドライブ” よりドライブ文字を選択します。

5. 「完了」 をクリックします。



6. 「マイコンピュータ」内にSA-DK2-NASのネットワークドライブのアイコンが表示されていれば完了です。



以降、このアイコンをクリックすると、共有フォルダーを開くことができます。

【Mac OS編】

■Mac OS 10.6/10.5の場合

※画面はMac OS 10.6の場合

※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合にアクセスする例です。

1.Finderの[移動]-[サーバへ接続]をクリックします。



クリック

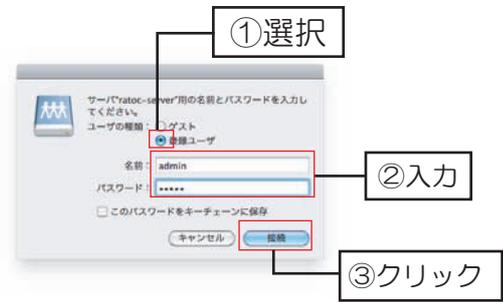
2.“サーバアドレス”欄へ「smb://ratoc-server」と入力し、「接続」をクリックします。



①入力

②クリック

3.ログイン画面が表示されます。
“登録ユーザ”を選択、名前（ユーザー名）とパスワードを入力し、「接続」をクリックします。
※例は、デフォルトのユーザ名とパスワード入力です。

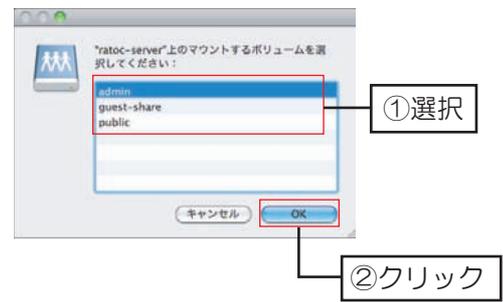


①選択

②入力

③クリック

4.共有フォルダーの一覧が表示されます。
マウントしたい共有フォルダーを選択し、「OK」をクリックします。



①選択

②クリック

5.共有フォルダーがデスクトップにマウントされます。



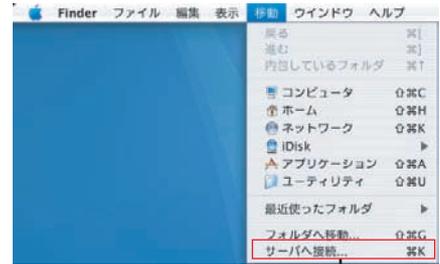
ログイン時に共有フォルダーを自動的にマウントさせるには

- 1.[システム環境]-[アカウント]を開きます。
- 2.[ログイン項目]をクリックします。
- 3.[+]をクリックし、すでにマウントされている本製品の共有フォルダーを選びます。
- 4.[追加]をクリックして完了です。

■Mac OS 10.4の場合

※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合にアクセスする例です。

1.Finderの[移動]-[サーバへ接続]をクリックします。



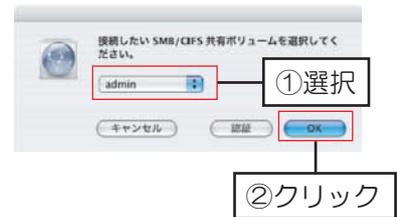
クリック

2.“サーバアドレス”欄へ「smb://ratoc-server」と入力し、「接続」をクリックします。



②クリック

3.接続するフォルダーを選択し、「OK」をクリックします。



②クリック

4.ログイン画面が表示されます。
「名前（ユーザ名）」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。
※例は、デフォルトのユーザー名とパスワード入力です。



②クリック

5.共有フォルダーがデスクトップにマウントされます。



ログイン時に共有フォルダーを自動的にマウントさせるには

- 1.[システム環境]-[アカウント]を開きます。
- 2.[ログイン項目]をクリックします。
- 3.「+」をクリックし、すでにマウントされている本製品の共有フォルダーを選びます。
- 4.「追加」をクリックして完了です。

8-5.共有フォルダーの設定変更

作成した共有フォルダーのアクセス権を変更できます。

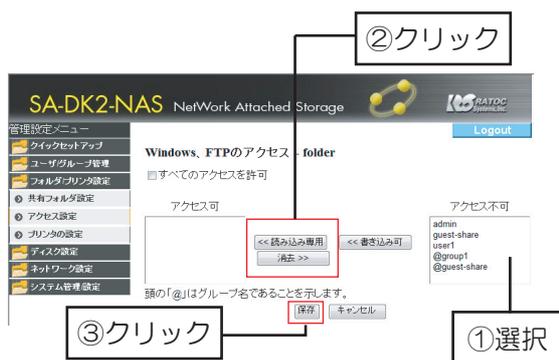
- 1.[フォルダ/プリンタ設定]-[アクセス設定]を開きます。
- 2.“共有フォルダー一覧”より設定変更したいフォルダーを選択します。
- 3.設定変更したいアクセス方法のボタンをクリックします。各アクセス方法の設定変更手順は以下になります。



Windows、FTPのアクセス設定変更

手順2.で選択した共有フォルダーへのアクセス許可を設定します。

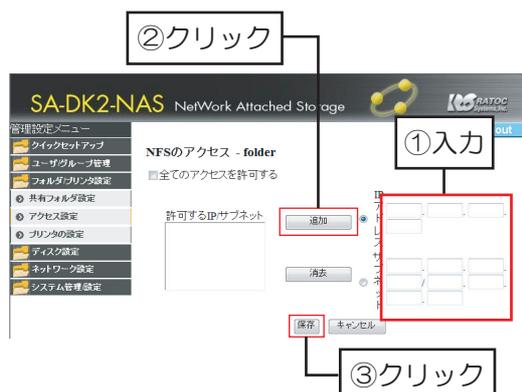
- 4.“アクセス不可”一覧よりアクセス権を与えたいユーザーまたはグループを選択します。
- 5.選択したユーザーに「読み込み専用」か「書き込み可」をクリックして権限を与えます
- 6.“アクセス可”へ選択したユーザーが移動したことを確認します。
- 7.「保存」をクリックして完了です。



NFSのアクセス設定変更

手順3.で選択した共有フォルダーへのアクセス許可を設定します。

- 4.アクセス権を与えたいIPアドレスもしくはサブネットマスクの範囲を入力します。
- 5.「追加」をクリックします。
- 6.“許可するIP/サブネットに入力したアドレスが移動したことを確認します。
- 7.「保存」をクリックして完了です。



8-6.共有フォルダーの編集

登録している共有フォルダーを判別するための説明を加えることができます。

※共有フォルダーの名前を変更することはできません。新規のフォルダーを作成し、再設定してください。

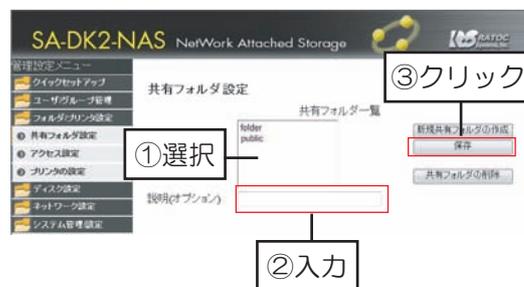
※登録ユーザーの“プライベートフォルダ”は一覧に表示されません。

1.管理設定メニューの[フォルダ/プリンタ設定]-[共有フォルダ設定]を開きます。

2 “共有フォルダー一覧” より共有フォルダーを選択します。

3. “説明 (オプション)” に入力します。

4. 「保存」をクリックして、完了です。



8-7.共有フォルダーの削除

共有フォルダーの削除をおこないます。

※プライベートフォルダーの削除は、以下の手順ではできません。削除方法は、38ページ【8-3.プライベートフォルダーの作成/削除】を参照ください。

1.管理設定メニューの[フォルダ/プリンタ設定]-[共有フォルダ設定]を開きます。

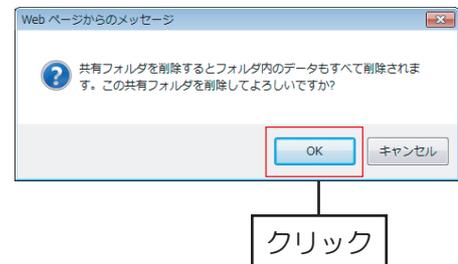
2.共有フォルダー一覧より共有フォルダーを選択します。

3.「共有フォルダの削除」をクリックします。

※共有フォルダーを削除すると、同時にフォルダー内のデータも削除されます。必要なデータはバックアップしてください。



4.確認画面を確認後、「OK」をクリックし、完了です。



9.メール通知の設定

RAID1（ミラーリング）使用時に異常が発生した場合、Eメールで通知をおこなうことができます。

設定画面上で使用できる文字には制限があります。
詳しくは【使用文字制限（9ページ）】を参照ください。

1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[エラー通知]を開きます。

2.“Eメールでエラーの通知を行う”にチェックを入れます。

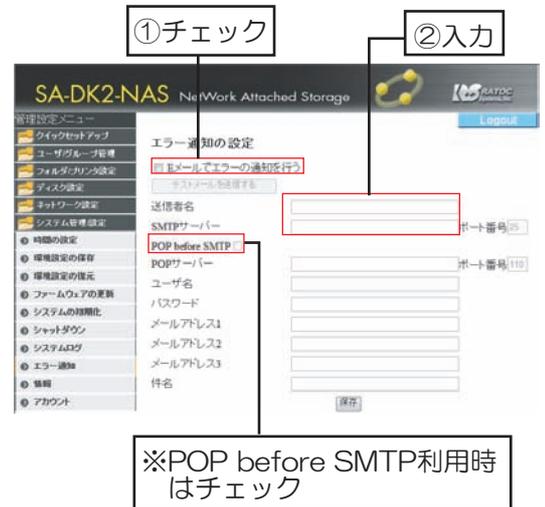
3.送信者を設定します。

“送信者名”へ任意の名前を入力します。

4.メール送信に利用するSMTPサーバーを設定します。

“SMTPサーバー”へ入力します。

※POP before SMTPにチェックを入れる場合、POPサーバー、ユーザ名、パスワードが必要です。



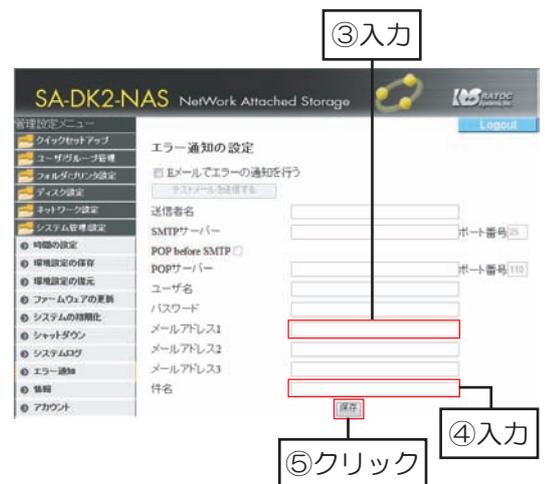
5.送信先のアドレスを設定します。

“メールアドレス”へメールアドレスを入力します。

※送信先メールアドレスは3ヶ所まで設定することができます。

6.通知メールの件名を設定します。

“件名”へ任意の件名を入力します。

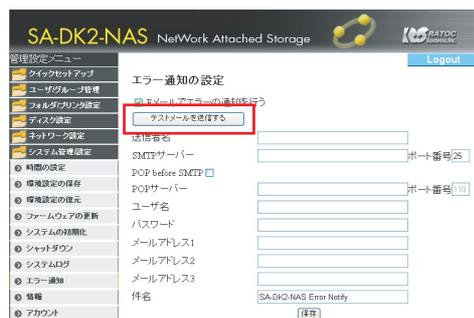


7.「保存」をクリックし、設定を保存します。



エラー通知設定の確認方法

「テストメールを送信する」をクリックすると設定情報が正しく機能するか実際にメールを送信してテストすることができます。設定したメールアドレスにメールが送信されているか確認してください。



10. 設定した環境の保存と復元

万が一に備えて本製品の環境設定を保存することをおすすめします。

“環境設定の復元”を使用することで、保存した環境設定に戻すことができます。

保存/復元される項目は、115ページ【リファレンス 16.環境設定の保存】を参照ください。

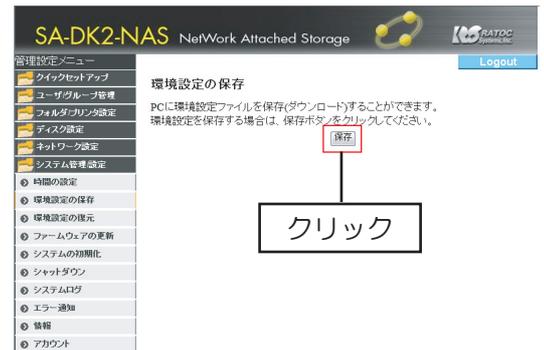
■ 設定した環境の保存手順

1.管理設定メニューの[ディスク設定]-[RAIDの設定]もしくは[ディスク設定]を開き、正常な状態（ディスク異常、RAID異常等がない状態）であることを確認します。

2.[システム管理/設定]-[環境設定の保存]を開きます。

3.「保存」をクリックすると、お使いのパソコンにデータファイルがダウンロードされます。

※保存したデータは大切に管理してください。



以上で、設定した環境の保存は完了です。



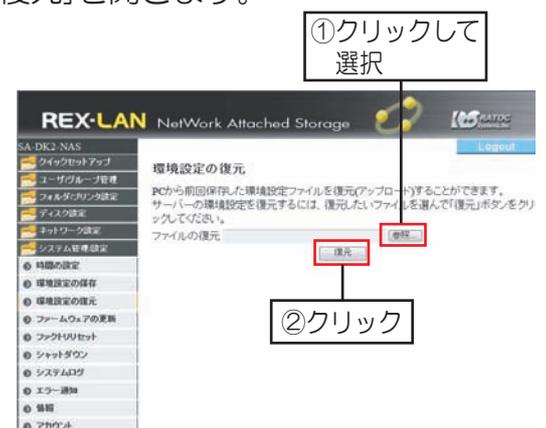
デフォルト設定ではファイル名は「config.tar」、保存先は「デスクトップ」となっています。上書きされないようファイル名を変更して保存してください。

■ 設定した環境の復元手順

1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[環境設定の復元]を開きます。

2.「参照」をクリックし、環境設定を保存したデータ（.tarファイル）を選択します。

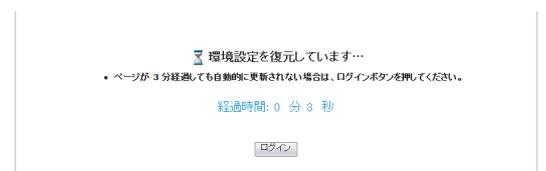
3.「復元」ボタンをクリックします。



4.画面が切り替わり、復元を開始します。

5.ログイン画面に戻れば復元は完了です。

※Safariを使用している場合、自動でログイン画面へ戻りません。本製品のSYSTEMランプの点滅が点灯に変わったこと（約2分）を確認してから、「ログイン」をクリックしてください。



以上で、設定した環境の復元は完了です。

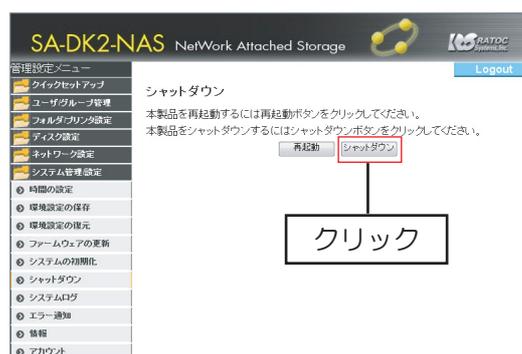
11. 本製品のシャットダウン手順

シャットダウンの手順は以下のとおりです。

- シャットダウン処理により、自動的に電源が切れます。
- シャットダウン処理中は、電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因となります。
- ユーザがアクセス中でも、シャットダウンされます。

1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[シャットダウン]を開きます。

2.「シャットダウン」をクリックします。



3.「OK」をクリックします。



4.シャットダウン中の画面になり、“SYSTEM”ランプが点滅し始めます。
“SYSTEM”ランプが消灯するまでしばらく待ちます。



5. “SYSTEM”ランプと“POWER”ランプが消灯すると、シャットダウン完了です。

運用編

12.ハードディスクの交換手順

 交換するディスクセットもしくはディスクが新規ディスクの場合

現在、設定している環境を新しいディスクセットでも使いたい場合は、入れ替える前に環境設定を保存し、新しいディスクのフォーマット後、環境設定を復元してください。

RAID1/JBODの場合

ディスクセットAをディスクセットBへ交換します。

注意

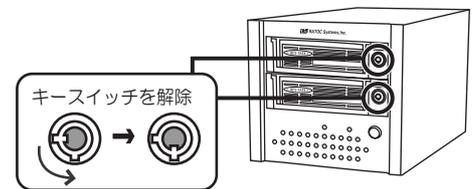
ディスクセットは混在しないように気をつけてください。Masterディスクを下段、Slaveディスクを上段に正しく装着してください。間違ったディスクセットを組み合わせると起動した場合、以下のようになります。

RAID1使用時：リビルド待機状態で起動します。[ディスク設定]-[RAIDの設定]でディスクを確認し、シャットダウンを実行後、正しいディスクをセットしてください。
但し、正しいディスクセットに戻しても、リビルドは必要になります。

JBOD使用時：ディスクに故障が生じ、復旧はできません。

1.本製品の管理設定メニュー[システム管理/設定]-[シャットダウン]にて、シャットダウンを実行します。

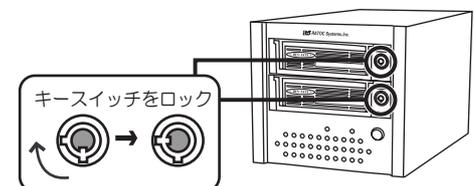
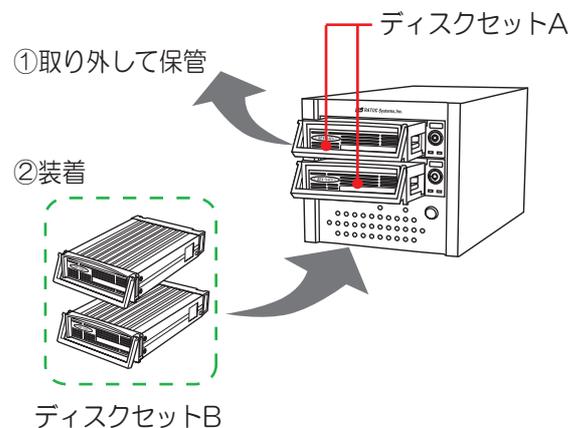
2.本製品のPOWERランプが消灯し、電源が切れたことを確認します。ディスクのキースイッチを解除し、トレイを取り外してください。



3.新しいディスクセットを本製品へ装着し、キースイッチをロックします。

※環境設定はディスクセットBで設定された環境になります。

4.電源を入れます。

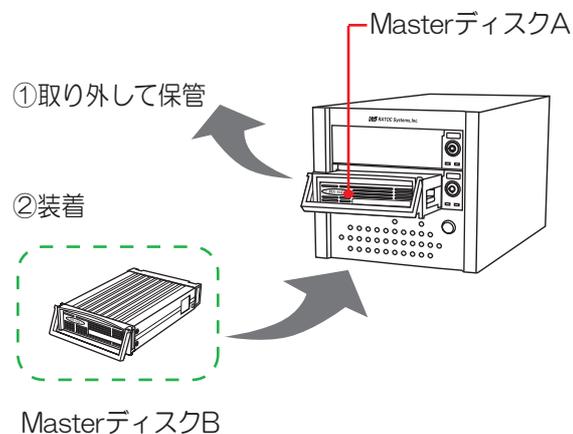


シングルモードの場合

■Masterのみ使用時

MasterディスクAをMasterディスクBへ交換します。

- 1.本製品の管理設定メニュー[システム管理/設定]-[シャットダウン]にて、シャットダウンを実行します。
- 2.本製品のPOWERランプが消灯し、電源が切れたことを確認します。Master（下段）のディスクのキースイッチを解除し、トレイを取り出してください。
- 3.新しいディスクを下段へ装着し、キースイッチをロックします。
※環境設定はMasterディスクBで設定された環境になります。
- 4.電源を入れます。



■Master/Slave使用時

Masterディスクだけを入れ替えてSlaveディスクをそのまま使ったり、MasterディスクはそのままSlaveディスクだけを交換して使用することができます。また、上下セットで交換することも可能です。

ハードディスクの交換手順は「■Masterのみ使用時」と同じです。

※Master側（下段）には、必ずMasterディスクを装着してください。

※Slave側（上段）は、単独で使用できません。

※上下段にMasterディスクを装着して使用することはできません。

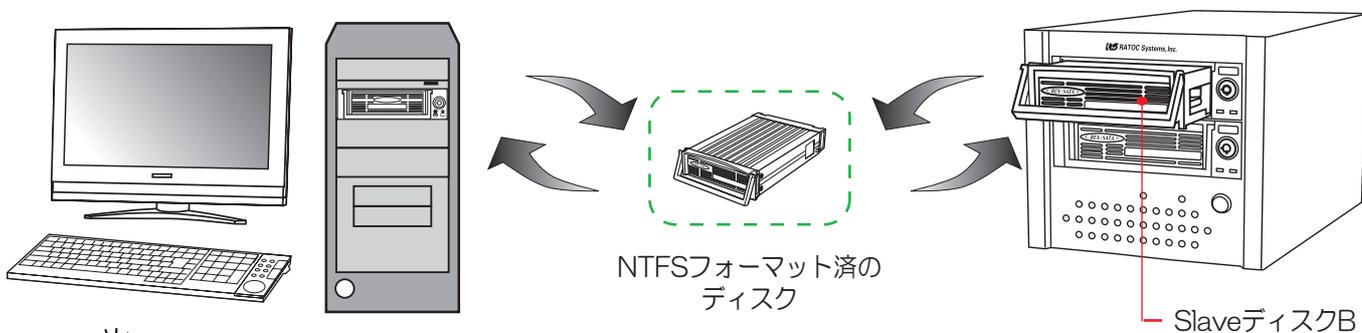
■SlaveにNTFSフォーマットのディスクを使用

NTFSフォーマットのディスクをSlave側（上段）で使用することができます。ハードディスクの交換手順は「■Masterのみ使用時」と同じです。

※本製品でNTFS形式にフォーマットすることはできません。

※Slave側（上段）は、単独で使用できません。

※Master側（下段）には、必ずディスクを装着してください。



本製品の環境設定はMasterディスクに保存されます。
Masterディスクを交換した場合、交換したMasterディスクに保存している環境設定に変更されます。

13.ハードディスクの追加（シングルモード）

2台目のハードディスクがある場合には、以下の作業をおこないます。

1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[シャットダウン]にて、シャットダウンを実行します。

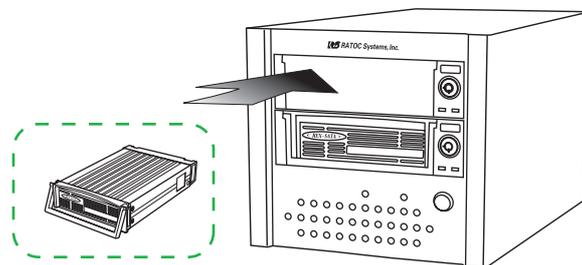
2.本製品のPOWERランプが消灯し、電源が切れたことを確認します。

3.新しいディスクをSlave（上段）へ装着し、キースイッチをロックします。

4.電源を入れます。

5.起動後、管理設定メニューの[ディスク設定]-[ディスク設定]を開き、“状態”が“unmount”になっていることを確認します。

※あらかじめフォーマットされたディスクを使用する場合、“状態”が“mounted”になっていることを確認します。
以上で、ハードディスクの追加は完了です。



新しいディスク



確認

6.フォーマット（EXT3/FAT32）を選択します。

※FAT32は1ファイルのサイズが最大4GBとなります。

7.「フォーマット」をクリックします。

8.確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。

※Slaveのハードディスクをフォーマット中は、他のクライアントPCからアクセスできません。

9.フォーマットが開始されます。

フォーマット終了後、Webブラウザの画面を更新※します。

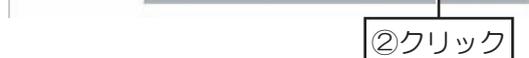
※.Internet Explorerの場合は、[表示]-[最新の情報に更新]

10.“状態”が“mounted”になっていることを確認します。

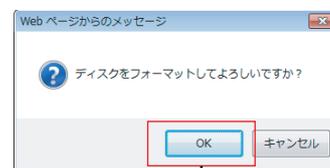
以上で、ハードディスクの追加は完了です。



①選択



②クリック



クリック



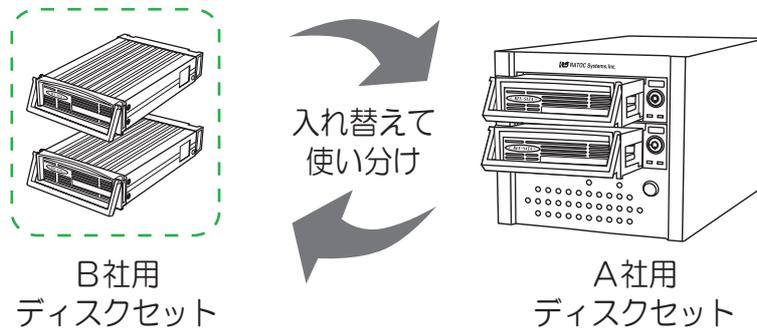
追加したディスクの共有フォルダー名について

上段のディスクはすべてのユーザーがアクセス可能な共有フォルダーとしての使用となります。フォルダー名は「sd2」として表示されます。NTFSフォーマットディスクも同様の表示となります。

14.ユーザーごとにディスクセットを使い分ける

RAID1（ミラーリング）やJBOD（ラージ）をディスクごとに使い分けできます

年度単位、顧客単位、プロジェクト単位などでハードディスクを入れ替えて使い分けができます。



⚠ 注意

ディスクセットは混在しないように気をつけてください。Masterディスクを下段、Slaveディスクを上段に正しく装着してください。間違ったディスクセットを組み合わせると起動した場合、以下のようになります。

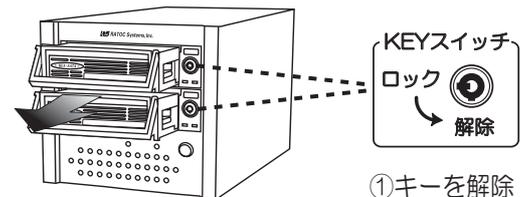
RAID1使用時：リビルド待機状態で起動します。[ディスク設定]-[RAIDの設定]でディスクを確認し、シャットダウンを実行後、正しいディスクをセットしてください。但し、正しいディスクセットに戻しても、リビルドは必要になります。

JBOD使用時：ディスクに故障が生じ、復旧はできません。

1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[シャットダウン]にて、シャットダウンを実行します。

2.POWERランプとSYSTEMランプが消灯したことを確認し、上下段のKEYスイッチを解除します。トレイをセットで取り出します。

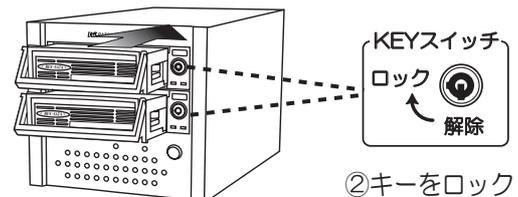
②A社用ディスク
セットを取り出す



①キーを解除

3.別のディスクセットをリムーバブルケースへ挿し込みKEYスイッチをロックしてください。本製品の電源を入れ、起動してください。

①B社用ディスク
セットを装着する



②キーをロック

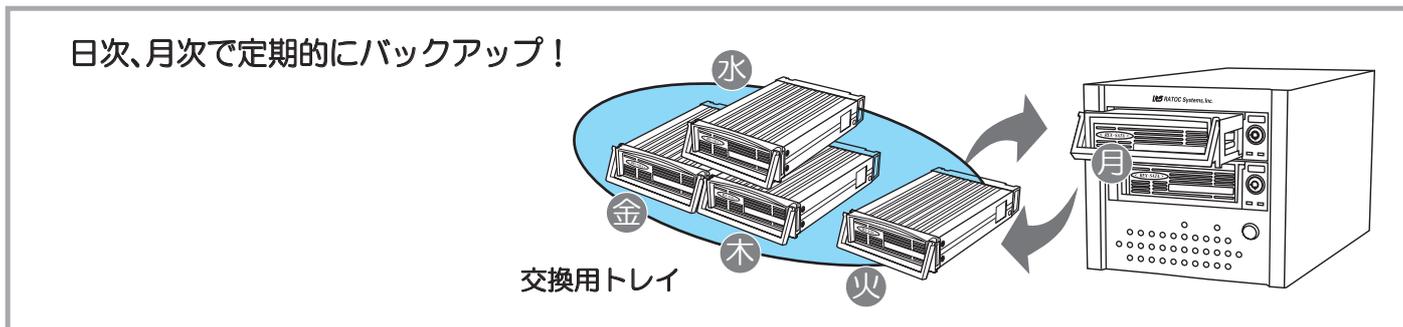
4.以上で、入れ替えは完了です。



本製品の環境設定はハードディスクに保存されますので、ディスクセットごとに異なった設定も可能です。

15. デイリーバックアップをする

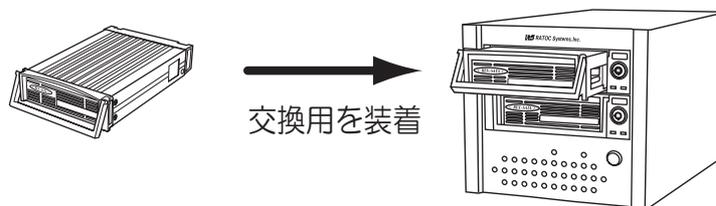
RAID1（ミラーリング）使用時に、バックアップディスクのみを交換してデイリーバックアップをおこなうことができます。



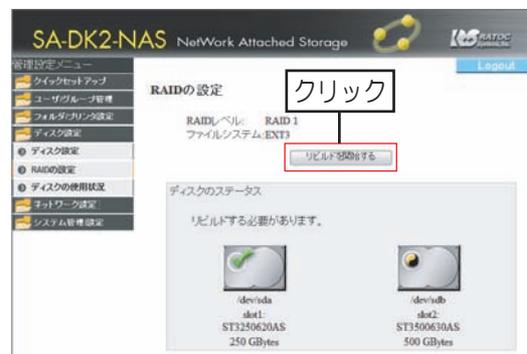
1. 設定画面よりシャットダウンします。
2. POWERランプとSYSTEMランプが消灯したことを確認し、上段のキースイッチを解除します。トレイを取り出してください。



3. 交換用トレイをリムーバブルケースの上段へ挿し込み、キースイッチをロックしてください。



4. 本製品の電源を入れ、起動します。
管理設定メニューの[ディスク設定]-[RAIDの設定]
にて「リビルドを開始する」をクリックします。
※バックアップ側（上段）へ間違ったディスクを入れないように
気をつけてください。リビルドを開始するとバックアップ先
になるディスクの中のデータは消去されます。



16. 動作モードの変更

16-1.動作モード変更時の注意

- モードを変更すると、保存されているデータは消去されます。モードを変更する前は必ず必要なデータはバックアップしてください。
- モードを変更すると、本製品の環境設定はデフォルトに戻ります。
- ハードディスクはすべてフォーマットされます。設定したユーザー名やパスワードもデフォルトに戻ります。

16-2.RAID1もしくはJBOD使用時の動作モード変更手順

現在使っている本製品の環境設定をモード変更後も引き続き使用したい場合は、環境を保存しておいてください。モード変更後に、保存された環境設定ファイルを読み込むことで、環境設定の復元が可能です。

1.管理設定メニューの[ディスク設定]-[RAIDの設定]を開きます。

2.「RAIDシステムを削除する」をクリックしてください。

※ハードディスクに保存されているデータも消去されます。



(画面はRAID1使用時)

3.確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



4.RAIDシステムを削除し、自動的に再起動します。

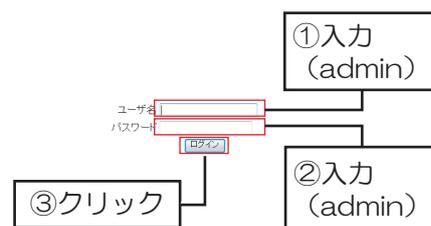
※Safariを使用している場合、自動でログイン画面へ戻りません。

本製品のSYSTEMランプの点滅が点灯に変わったこと(約1分30秒から2分程)を確認し、「ログイン」をクリックしてください。



5.再起動後ログイン画面が表示されますので、ログインします。

※フォーマットしているので、ログイン時のユーザ名、パスワードはデフォルトの“admin”に戻ります。



6.[ディスク設定]-[RAIDの設定]を開き、動作モードを選択します。以下のいずれかのページを参照し、設定を進めてください。

- 【4-1.RAID1/JBODモードを使用する場合】 ⇒20ページ
- 【4-2.シングルモードで使用する場合】 ⇒21ページ

7.動作モード設定後、本製品の環境設定をおこないます。以下のいずれかのページを参照し、設定を進めてください。

- 基本設定をおこなう場合 ⇒23ページ
- 環境設定の復元をおこなう場合 ⇒51ページ

16-3.シングルモード使用時の動作モード変更手順

現在使っている本製品の環境設定をモード変更後も引き続き使用したい場合は、環境を保存しておいてください。モード変更後に、保存された環境設定ファイルを読み込むことで、環境設定の復元が可能です。

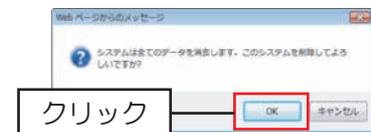
1.管理設定メニューの[ディスク設定]-[RAIDの設定]を開きます。

2.「システムデータを消去する」をクリックしてください。

※ハードディスクに保存されているデータも消去されます。



3.確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



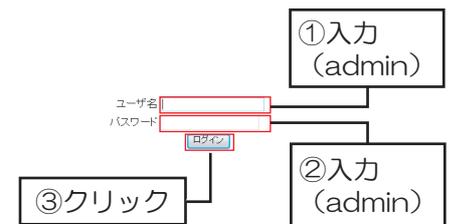
4.システムを消去し、自動的に再起動します。

※Safariを使用している場合、自動でログイン画面へ戻りません。
本製品のSystemランプの点滅が点灯に変わったこと（約1分30秒から2分程）を確認し、「ログイン」をクリックしてください。



5.再起動後ログイン画面が表示されますので、ログインします。

※フォーマットしているため、ログイン時のユーザ名、パスワードはデフォルトの“admin”に戻ります。



6.[ディスク設定]-[RAIDの設定]を開き、動作モードを選択します。以下のいずれかのページを参照し、設定を進めてください。

- 【4-1.RAID1/JBODモードを使用する場合】 ⇒20ページ
- 【4-2.シングルモードで使用する場合】 ⇒21ページ

7.動作モード設定後、本製品の環境設定をおこないます。以下のいずれかのページを参照し、設定を進めてください。

- 基本設定をおこなう場合 ⇒23ページ
- 環境設定の復元をおこなう場合 ⇒51ページ

17.背面USBポートを活用する

17-1.USBハードディスクを増設する

本製品の背面USBポートにUSBハードディスクを接続することができます。

※対応するフォーマット形式は、EXT3、FAT32、NTFSです。

※USBハブを使用した場合、最大4台のUSBハードディスクを接続できます。

EXT3、FAT32、NTFS以外のUSBハードディスクを接続する場合、USBハードディスクのフォーマットが必要です。フォーマットするとデータは消去されますので、ご注意ください。

USBハードディスクを接続

1.本製品の電源が入っているか確認してください。

※必ず本製品の電源が入った状態でUSBハードディスクを接続してください。

2.本製品の背面USBに接続し、増設するUSBハードディスクの電源を入れてください。

USBハードディスクのフォーマット方法

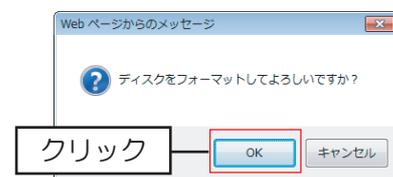
1.管理設定メニューの[ディスク設定]-[ディスク設定]画面を開きます。

フォーマット形式（EXT3/FAT32）を選択し、「フォーマット」をクリックします。

※NTFSフォーマットのUSBハードディスクを接続する場合、弊社製 REX-SATA3シリーズ（内蔵）、リムーバブルケースなどであらかじめNTFSベーシックディスクフォーマットしておく必要があります。



2.確認メッセージが表示されます。「OK」をクリックします。

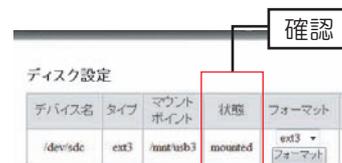


3.フォーマットが開始されます。

※USBハードディスクのフォーマット中は他のクライアントPCからアクセスできません。

4.“状態”が“mounted”になったらフォーマット終了です。Webブラウザの画面を更新*をします。

※.Internet Explorerの場合は、[表示]-[最新の情報に更新]



以上で、USBハードディスクのフォーマットは完了です。

⇒次ページ、【USBハードディスクの接続を確認】へ進んでください。

USBハードディスクの接続を確認

管理設定メニューの[ディスク設定]-[ディスク設定]を開きます。
正常に認識されている場合、右のように“状態”は“mounted”と表示されます。

※USBハードディスクのデバイス名が“/dev/sda”になっている場合、正しく認識されていません。詳しくは77ページ[■USB機器が正しく認識されない]を参照ください。

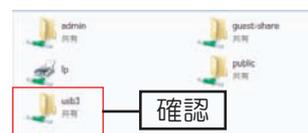


USBハードディスクにアクセス

1. ネットワーク上で、本製品の共有フォルダの一覧を表示させます。
手順については、39ページ【8-4.共有フォルダへのアクセス方法】を参照ください。

2. USBハードディスクの場合、共有フォルダの一覧に[usb3]と表示されます。

※ハードディスクを複数のパーティションに分割している場合、先頭のパーティションのみを表示します。



(Windows 7の表示例)



ネットワーク上でのUSBハードディスクの表示について

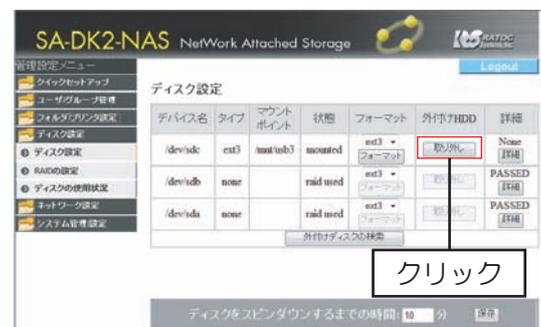
ネットワーク上の表示は[ディスク設定]の一覧表のマウントポイントで確認できます。

[ディスク設定]の一覧表のマウントポイント		ネットワーク上の表示
mnt/usb3	→	usb3
mnt/usb4	→	usb4

USBハードディスクの取り外し

- 管理設定メニューの[ディスク設定]-[ディスク設定]を開きます。
- 取り外すディスクの“外付けHDD”欄の「取り外し」をクリックします。
※USBハードディスクへのアクセス中は取り外しできません。
- “状態”が“unmount”となっていることを確認し、USBハードディスクを外します。

以上で、USBハードディスクの取り外しは完了です。



17-2.USBプリンターを共有して使用する

- プリンターの共有はWindowsのみ対応します。
- 本製品に接続したプリンターは、本製品の電源がONの状態でも取り外すことができます。プリンターが使用されていないことを確認し、本製品から取り外してください。
- 本製品でプリンターを使用する全てのパソコンに、プリンターのドライバをインストールする必要があります。
- プリンターの双方向機能(インク残量確認など)には対応していません。
- 複合機のスキャナー機能、カードリーダー機能には対応していません。
- 本製品に接続できるプリンターは1台のみです。2台以上を接続することはできません。

プリンターのドライバをインストール

お使いのパソコンに、使用するプリンターのプリンタードライバをインストールします。
※プリンタードライバのインストール方法はプリンターの取扱説明書を参照してください。

プリンターを接続

- 1.本製品の電源が入っているか確認します。
※必ず本製品の電源が入っている状態で接続してください。
- 2.プリンターの電源をONにします。
- 3.プリンターの電源が入っていることを確認し、本製品の背面USBポートへ接続します。

以上で、本製品との接続は完了です。

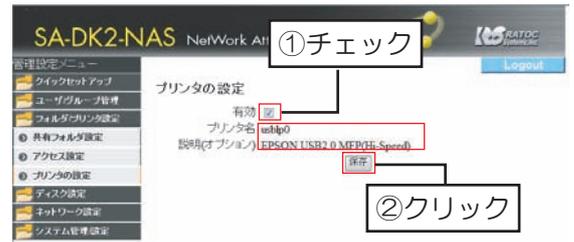
⇒次ページ、【プリンターの設定】へ進んでください。

プリンターの設定

1.管理設定メニューの[フォルダ/プリンタ設定]-[プリンタの設定]を開きます。

2.“プリンタ名”に接続したプリンターの名前が表示されているかを確認します。

※プリンタ名にプリンターの名前が表示されない場合は、77ページ【■USB機器が正しく認識されない】を参照ください。



3.“有効”にチェックを入れ、「保存」をクリックします。

4.お使いのパソコンにて、プリンタの設定をおこないます。

- Windows 7 → 66ページ
- Windows Vista → 67ページ
- Windows XP → 68ページ
- Windows 2000 → 69ページ

以上で、プリンターの設定は完了です。

プリンターの設定

【Windows 7の場合】

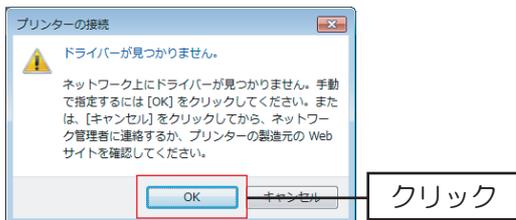
※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合です。

1.39ページ【8-4.共有フォルダへのアクセス方法 ■Windows 7の場合】にしたがって、本製品にアクセスします。

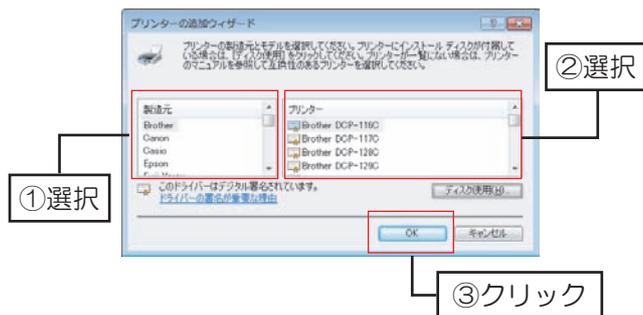
2. 「lp」をダブルクリックします。



3. 「OK」をクリックします。



4. 本製品に接続しているプリンターの製造元とプリンターを選択し、「OK」をクリックします。



5. プリンターのフォルダが表示されます。



6. [スタート]-[コントロールパネル]を開き、[デバイスとプリンター]をクリックします。

7. 「lp (ratoc-server上)」を右クリックし、「通常使うプリンターに設定」をクリックします。



以上で、プリンターの設定は完了です。

プリンターの設定

【Windows Vistaの場合】

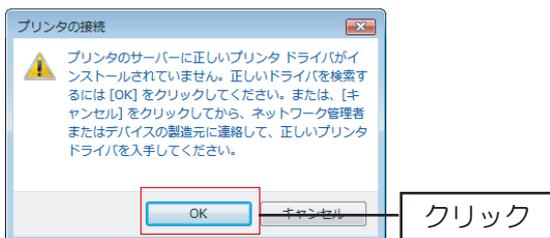
※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server” の場合です。

1.40ページ【8-4.共有フォルダーへのアクセス方法 ■Windows Vistaの場合】にしたがって、本製品にアクセスします。

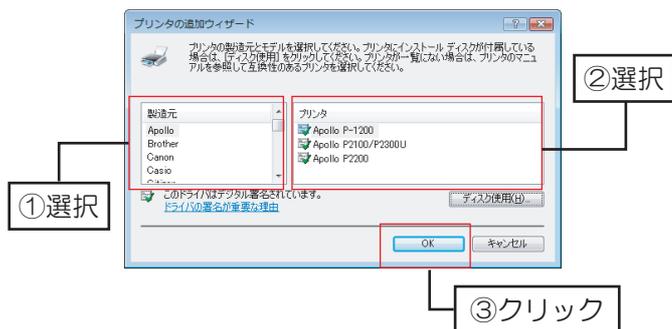
2. 「lp」 をダブルクリックします。



3. 「OK」 をクリックします。



4.本製品に接続しているプリンターの製造元とプリンターを選択し、「OK」をクリックします。

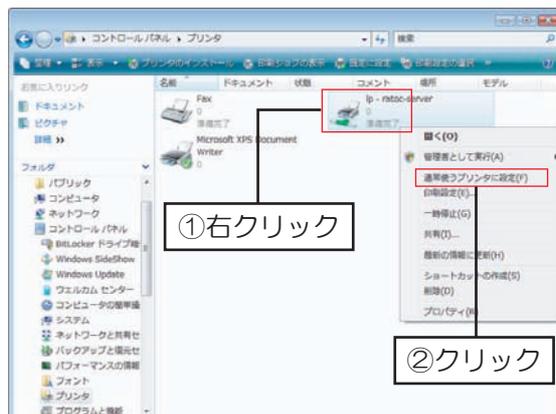


5.プリンターのフォルダーが表示されます。



6.[スタート]-[コントロールパネル]を開き、[プリンタ]をクリックします。

7. 「lp -ratoc-server」 を右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックします。



以上で、プリンターの設定は完了です。

プリンターの設定

【Windows XPの場合】

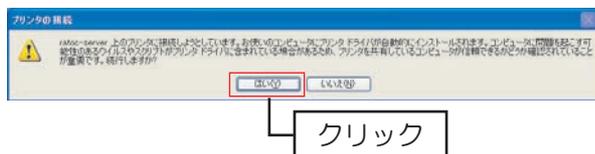
※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合です。

1.41ページ【8-4.共有フォルダーへのアクセス方法 ■Windows XPの場合】にしたがって、本製品にアクセスします。

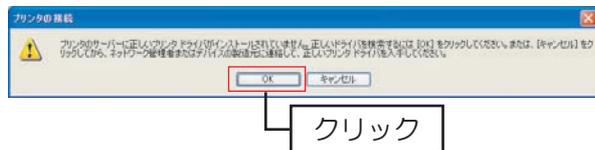
2. 「lp」をダブルクリックします。



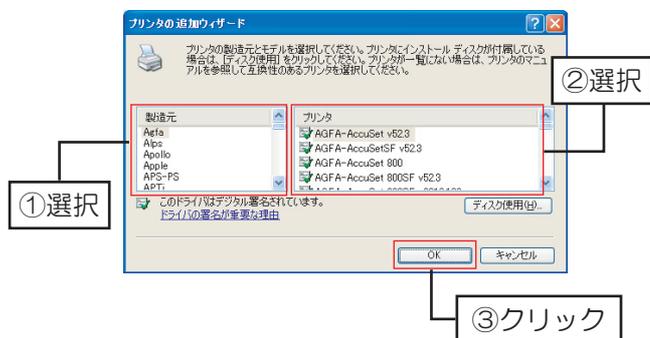
3. 「はい」をクリックします。



4. 「OK」をクリックします。



5. 本製品に接続しているプリンターの製造元とプリンターを選択し、「OK」をクリックします。

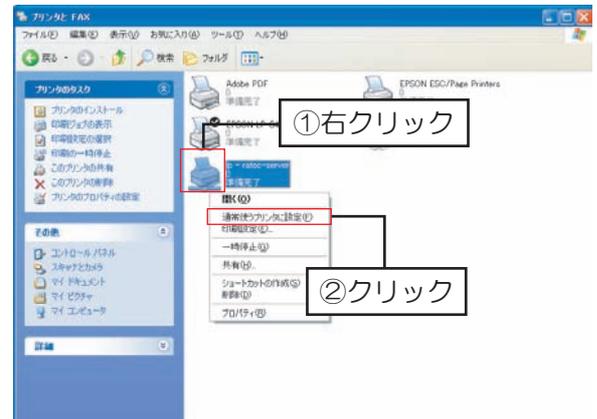


6. プリンターのフォルダーが表示されます。



7. [スタート]-[コントロールパネル]を開き、[プリンタとFAX]をクリックします。

8. 「lp-ratoc-server」を右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックします。



以上で、プリンターの設定は完了です。

【Windows 2000の場合】

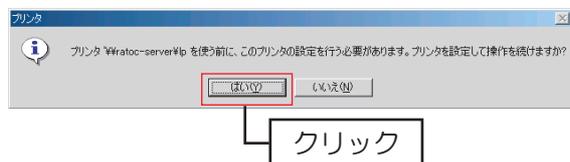
※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合です。

1.43ページ【8-4.共有フォルダへのアクセス方法 ■Windows 2000の場合】にしたがって、本製品にアクセスします。

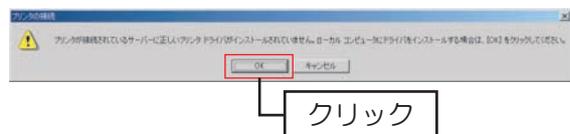
2. 「lp」をダブルクリックします。



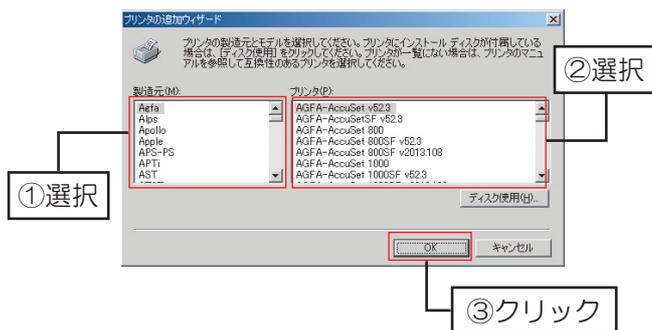
3. 「はい」をクリックします。



4. 「OK」をクリックします。



5.本製品に接続しているプリンターの製造元とプリンターを選択し、「OK」をクリックします。

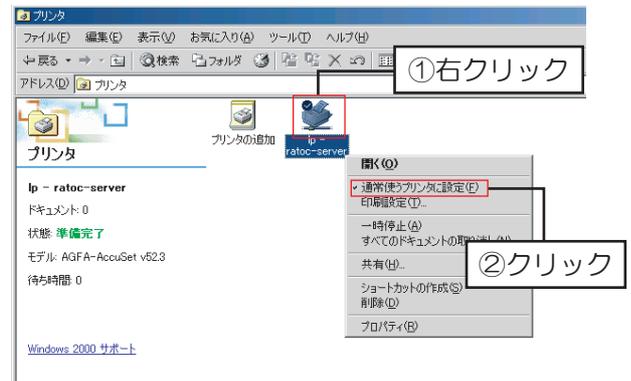


6.プリンターのフォルダが表示されます。



7.[スタート]-[設定][コントロールパネル]を開き、[プリンタ]をクリックします。

8. 「lp-ratoc-server」を右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックします。



以上で、プリンターの設定は完了です。

18. iTunesサーバー機能を活用する

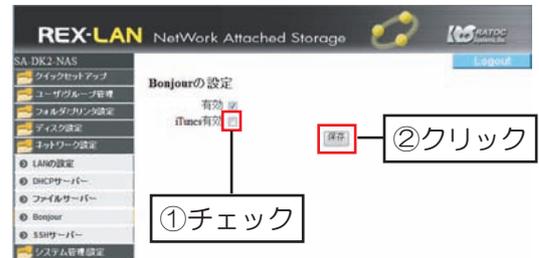
18-1. iTunesサーバーとして使用する際の注意

- iTunesは、10.0.1以降にアップデートしてご使用ください。
- iTunesサーバー機能で公開した音楽ファイルは、本製品と同じネットワークに接続し、iTunesをインストールされているパソコンで再生することができます。
対応フォーマットはMP3、m4a（AAC、Appleロスレス）です。
- 工場出荷時状態では、iTunesサーバー機能は無効となっています。利用する場合は、管理設定メニューより[ネットワーク設定]-[Bonjour]でiTunes有効に設定してください。
- ファイルの追加や削除をおこなった場合、しばらくするとiTunesに反映されます。
- 本製品に保存している音楽ファイルを、iTunes再生中に削除したり移動させたりしないでください。
- 同時再生をおこなったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。
- MP3のIDタグ情報の文字はUTF-8のエンコードに対応しています。UTF-8以外の形式でエンコードされたID3タグ情報は、iTunes上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けしてしまう場合があります。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

18-2.iTunesサーバーの設定方法

iTunesサーバー機能の設定

- 1.管理設定メニューの[ネットワーク設定]-[Bonjour]を開きます。
- 2.“iTunes有効”にチェックを入れ、「保存」をクリックします。



音楽データの保存

- 1.39ページ【8-4.共有フォルダーへのアクセス方法】を参照し、共有フォルダー「public」内の「music」フォルダーを開きます。
※本製品の管理画面でiTunesを有効にしていない場合、「music」フォルダーは作成されません。
- 2.「music」フォルダーへiTunesで公開したい音楽データを書き込みます。

iTunesからアクセス

※以下の例は、ホスト名が“ratoc-server”の場合にアクセスする例です。

- 1.本製品と同じネットワーク内に接続されたパソコンのiTunesを起動します。
- 2.iTunesが起動すると、自動的に“ratoc-server_Music_Box”が“共有”に表示されます。
- 3.iTunesに表示された“ratoc-server_Music_Box”をクリックすると、本製品のiTunesサーバー機能で公開している音楽ファイルが表示されます。



異常時の対応 (リビルド手順)

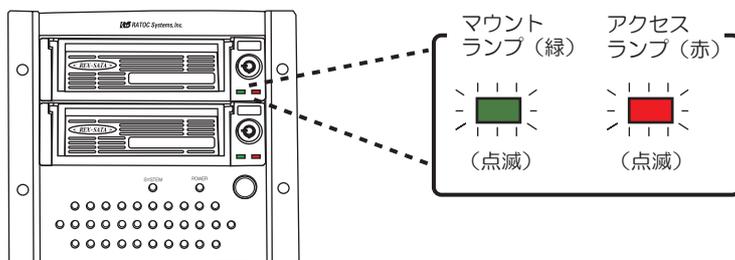
19. 障害が発生した場合

RAID1使用時、片方のディスクにエラーが発生するとマウントランプとアクセスランプで点滅し、メール通知機能を設定していると異常を知らせるメールが届きます。突然このような状況が発生したときは、ハードディスクが故障している可能性があります。もう一方の正常なハードディスクにデータは保存されているので、データ消失の心配はありませんが、安全性確保のため、早急に新しいハードディスクと交換してください。

■管理設定メニュー[ディスク設定]-[RAIDの設定]を開くと、右のようなステータスが表示されます。



1.ディスクに異常が起きた場合、異常が起きたディスク側のマウントランプとアクセスランプが点滅します。



2.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[シャットダウン]にて、シャットダウンを実行します。

3.異常が起きたトレイを取り出し、必ず正常なディスクを下段に、新しいディスクを上段に装着します。

※同一メーカー、同一型番のハードディスクを用意してください。

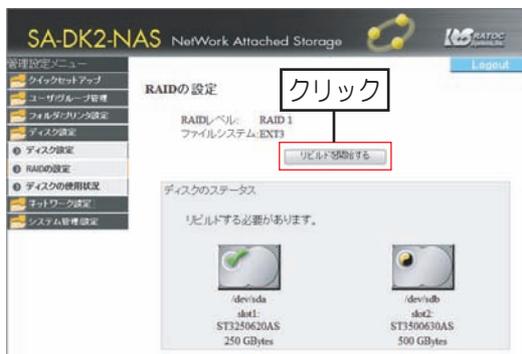
4.トレイを本製品に挿し込み、キースイッチを“ロック”します。

5.本製品を起動後、[ディスク設定]-[RAIDの設定]にて「リビルドを開始する」をクリックします。

マウントランプ（緑）が点滅、アクセスランプ（赤）が点灯を始めるとリビルド開始です。

※リビルド中も、データへのアクセスは可能です。

※リビルドに失敗した場合は、81ページ【リビルドに失敗した場合の対処方法】を参照ください。



リビルドにかかる時間の目安

1TBのディスクで約6時間

2TBのディスクで約12時間

以上で、異常時の対処は完了です。

こんなときは

■本製品が検出されない場合（Windows）

- SA-DK2-NAS検索ソフトで本製品が検出されない。

原因	ケーブルが接続されていない
対処	本製品にLANケーブルが接続されているか確認してください。 また、本製品を接続したルーターやLANハブ、パソコン側のLANポートも確認してください。

原因	起動が正常におこなわれなかった
対処	SYSTEMランプ（橙色）が点灯もしくは点滅しているか確認ください。 消灯している場合は正常に起動されていません。背面スイッチを一旦OFFにし、再度起動をおこなってください。 それでも起動しない場合の対処は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none">・確認1 ハードディスクを抜いて本製品のみで起動してください。起動する場合、ハードディスク異常が考えられます。・確認2 確認1でも起動しない場合は、背面のRESETスイッチを先が細いピンなどで押しってください。 上記2点をおこなっても起動しない場合は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

原因	本製品が起動処理中である
対処	本製品が起動するまで（SYSTEMランプが緑に点灯するまで）お待ちください。

- 「¥¥（ホスト名）」で本製品へアクセスできない。

原因	ホスト名が変更されている、もしくはデフォルト（sadm2）へ戻っている
対処	検索ソフトから管理設定メニューへアクセスし、ホスト名を確認してください。

原因	ファイルサーバー設定が無効になっている
対処	管理設定メニューの[ファイルサーバー]を開き、“Windowsの設定”の“有効”にチェックが入っているか確認してください。

原因	セキュリティソフト等によりブロックされている
対処	「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」で FindSA-DK2-NASを許可する設定にしてください。

■本製品が検出されない場合 (Mac)

- Bonjourで本製品が検出されない。

原因	設定が無効になっている
対処	管理設定メニューの[ネットワークの設定]-[Bonjour]を開き、“有効”にチェックが入っているか確認ください。チェックが外れている場合、Bonjourから検出されません。

- 「smb:// (ホスト名)」で本製品へアクセスできない。

原因	ホスト名で検索できない
対処	ホスト名の代わりに本製品のIPアドレスを入力し、接続してください。 IPアドレスはMacの「Bonjour」よりログインし、管理設定メニューの[システム管理/設定]-[情報]を開いて確認できます。

- iTunesで本製品が検出されない。

原因	iTunesが有効になっていない
対処	管理設定メニューの[ネットワークの設定]-[Bonjour]を開き、“iTunes有効”にチェックが入っているか確認ください。チェックが外れている場合、iTunesから検出されません。

■USB機器が正しく認識されない

●USBハードディスクがフォルダーに表示されない

原因	接続しているハードディスクがNTFSのダイナミックフォーマット
対処	NTFS形式で使用する場合はベーシックディスクフォーマットにしてください。 EXT3もしくはFAT32へフォーマットする場合、フォーマット手順は62ページ【17-1.USBハードディスクを増設する】を参照ください。

原因	本製品が起動する前にUSBハードディスクの電源を入れたため、「usb」として認識されず「sda」として認識されている
対処	1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[シャットダウン]にて、シャットダウンを実行します。 2.電源が切れたことを確認し、本製品に接続しているUSBケーブルを外します。 3.本製品の電源を入れます。 4.本製品が起動したことを確認し、USBケーブルを挿します。 5.[ディスク設定]-[ディスク設定]を開き、ディスク一覧の“マウントポイント”が「usb3」となっているか確認します。

●管理設定メニューの[プリンター設定]でUSBプリンターが表示されない

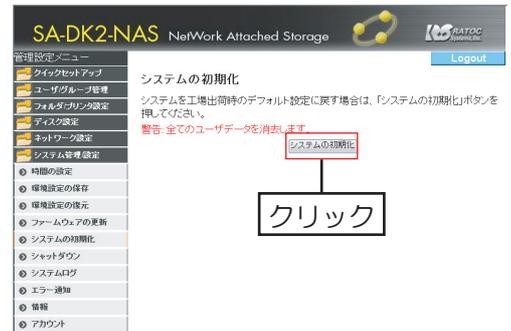
原因	本製品が起動する前にUSBプリンターの電源を入れたため
対処	1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[シャットダウン]にて、シャットダウンを実行します。 2.電源が切れたことを確認してから、プリンターの接続を外します。 3.本製品の電源を入れます。 4.起動後、USBプリンターを接続します。

■出荷時の設定に戻すには

ハードディスクを工場出荷時の設定に戻します。ハードディスク内のデータは消去されますので必要なデータはネットワーク上のパソコンにバックアップしておいてください。方法は2通りあります。

管理設定メニューから実行する場合

- 1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[システムの初期化]画面を開きます。
- 2.「システムの初期化」をクリックします。



- 3.確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

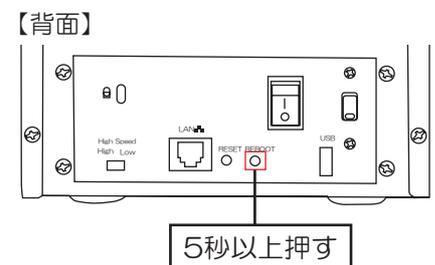
- 4.初期化が始まります。
終了後、ログイン画面に戻ります。



以上で、出荷時の設定に戻りました。

本製品「REBOOT」ボタンで実行する場合

- 1.本製品の電源が入っていること（SYSTEMランプが緑に点灯していること）を確認します。
- 2.本製品背面の“REBOOT” ボタンを約5秒以上押し続け、SYSTEMランプが点滅するのを確認します。



- 3.SYSTEMランプが緑色に点灯すれば、システムの初期化は完了です。

以上で、出荷時の設定に戻りました。

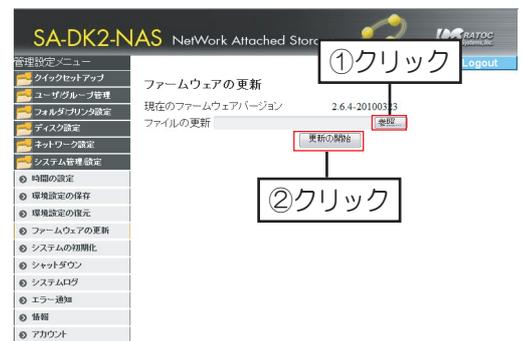
■ファームウェアの更新をおこなうには

最新ファームウェアは弊社ホームページ（<http://www.ratocsystems.com>）よりダウンロードできます。ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能追加、修正など重要な更新が含まれます。
※ダウンロードしたファイル（tar.gz）は実行したり、開いたりしないでください。

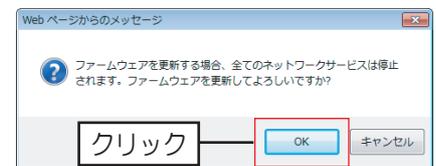
- 1.弊社ホームページ（<http://www.ratocsystems.com>）より最新ファームウェアをダウンロードします。
※本製品にアクセスしているユーザがないことを確認してからファームウェアの更新をおこなってください。
より安全にファームウェアの更新をするために、本製品とパソコンをLANケーブルで直接つないでおこなう方法もあります。

- 2.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[ファームウェアの更新]を開きます。

- 3.“ファイルの更新”の「参照」をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイル（tar.gz）を選択して、「更新の開始」をクリックしてください。



- 4.確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



- 5.ファームウェアの更新を開始します。
約15分ほどかかります。



ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。
更新中に電源を切ると、故障するおそれがあります。

以上で、ファームウェアの更新は完了です。

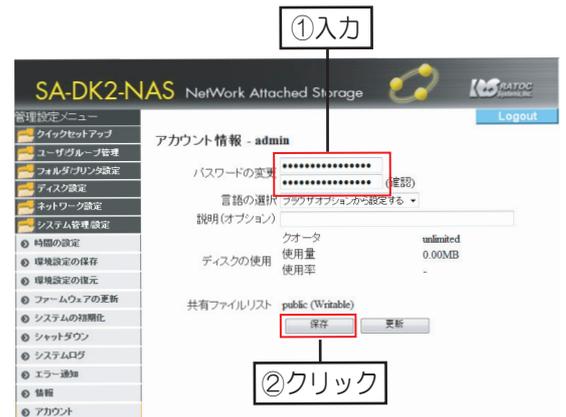
■管理者パスワードを変更するには

パスワードは忘れないようしっかり管理しておいてください。
設定したパスワードを忘れた場合、システムの初期化が必要になり、ハードディスクの中身も消去されます。詳しくは、77ページ【出荷時の設定に戻すには】を参照ください。

1.設定管理メニューの[システム管理/設定]-[アカウント]を開きます。

2.“パスワードの変更”に新しいパスワードを入力します。

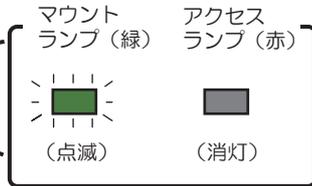
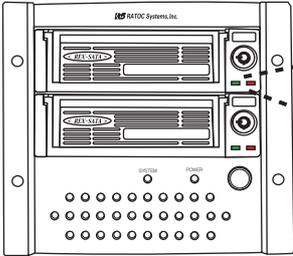
3.「保存」ボタンで保存して変更完了です。



■リビルドに失敗した場合の対処方法

リビルドに失敗しているかの確認は以下2通りあります。リビルドの失敗を確認後、以下の手順をおこないます。

- Slave側のマウントランプは点滅したままで、アクセスランプが消灯します。



- 管理設定メニュー[ディスク設定]-[RAIDの設定]を開くと、“リビルドに失敗しました”と表示されます。



- 1.Slave側へ新しく挿入したディスクを別のディスクと交換するため、一旦シャットダウンします。
- 2.Slave側のディスクを抜き、Masterディスクのみで起動します。
- 3.本製品を起動後、[ディスク設定]-[RAIDの設定]にてMasterディスクが認識されているか確認し、シャットダウンを実行します。
- 4.Slave側へ別の新しいディスクを装着し、起動します。
- 5.本製品を起動後、[ディスク設定]-[RAIDの設定]にて「リビルドを開始する」をクリックします。

上記の手順をおこなってもリビルドに失敗する場合は、Masterディスクの異常が考えられます。Masterディスクのみで起動し、以下の手順をおこなってください。

システムの初期化をおこないますので、ハードディスク内のデータのバックアップ、本製品の設定環境の保存をおこなってください。

- 1.管理設定メニューの[システム管理/設定]-[システムの初期化]を開き、「システムの初期化」をクリックします。



- 2.システムの初期化完了後、再ログインします。

- 3.[ディスク設定]-[RAIDの設定]を開き、「RAIDシステムを削除する」をクリックします。



以上で、リビルド失敗の対処は完了です。新しくRAIDの作成をおこなってください。

仕様

一般仕様

シリーズ名	REX-RAIDシリーズ
型番	SA-DK2-NAS
名称	LAN接続型 リムーバブルRAIDケース（外付け2ベイ・アルミ）
対応OS	Windows 7/Vista/XP/2000 Windows Server 2008R2/2008/2003R2/2003 Mac OS X 10.4以降 ※64ビットにも対応 ※本製品の設定をおこなうにはInternet Explorer6.0以上/Safari3.0以上のWebブラウザが必要で す。 ※Mac OSのバックアップ機能(Time Machine)は使用できません。
対応機種	LANインターフェースを搭載したWindows PC、Mac
対応ドライブ	3.5/2.5インチ SATA対応ハードディスク(必要容量:80GB以上2TB以下)
LANインターフェイス	コネクタ:RJ-45×1 転送規格:1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
対応プロトコル	TCP/IP、UPnP、Bonjour ※DLNAには対応していません。
対応共有サービス	SMB/FTP/NFS/SSH
IPアドレス設定	自動取得(DHCPクライアント機能)、手動設定
動作モード	RAID 1(ミラーリング)、JBOD(ラージ)、シングル(HDD1台で使用)
対応フォーマット	【RAID1(ミラーリング)】EXT3 【JBOD(ラージ)】EXT3 【シングル】EXT3、FAT32、NTFS V3.1(NTFSフォーマットはマスターディスクで使用することができません。)
省電力モード	一定時間アクセスがない場合、ハードディスクの回転を停止 (ハードディスクの回転停止までの時間は設定可能)
障害通知機能	E-mailによる通知、マウント/アクセスランプによる表示
拡張インターフェイス	USB Aコネクタ×1、USB2.0:Hi-Speed/480Mbps、Full-Speed/12Mbps ※パソコンとの接続には使用できません。
対応USB機器	USBハードディスク、USBプリンター※1、USBプリンター複合機(FAX、スキャナー、カードリーダーなど搭載)※1/2、USBメモリ、USBカードリーダー ※1.Windowsのみ対応 ※2.USBプリンター複合機はプリンター機能のみ対応しています。
スイッチ	【電源スイッチ(背面)】:本体電源のON/OFF 【システム起動スイッチ(前面)】:システムの起動 【FANスイッチ】:FAN回転数(HIGH/LOW)切り替え 【キースイッチ】:トレイ/HDD電源のON/OFF、HDのマウント/アンマウント
ランプ	【POWER】:本体起動中、緑色に点灯 【SYSTEM】:システム起動中、オレンジ色に点灯 【マウント】:ハードディスクマウント時、緑色に点灯 【アクセス】:ハードディスクへのアクセス時、赤色に点灯
FAN	8cm角×1(ケース本体背面)
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	AC100V/27W(待機時)
内蔵電源ユニット	150W(最大値) DC+5V/16A(最大)、DC+12V/12A(最大)
使用可能HD最大消費電流	DC+5V/5.3A、DC+12V/9.5A ※HDD2台の合計値がこの範囲に収まること(突入電流含まず)
動作環境	温度:0~40℃、湿度:20~80%(ただし結露しないこと)
外形寸法	約190mm(W)×270mm(D)×165mm(H)
重量	約 2.3 kg(本体のみ)、約3kg(アルミトレイ含む)
材質	アルミ、プラスチック(ABS樹脂)、鋼板
カラー	本体:ブラック トレイ:ブラック(プラスチック部)
製品内容	・LAN接続型リムーバブルRAIDケース本体(トレイを含む) ・LANケーブル(約100cm) ・ロックキー×4本 ・ACケーブル(約180cm) ・インデックスシール×2枚 ・3.5インチハードディスク取付ネジ(インチネジ)×8本 ・コネクタガード×2個 ・2.5インチハードディスク取付ネジ(ミリネジ)×4本 ・保証書 ・セットアップガイド ・ソフトウェアCD-ROM
添付ソフトウェア	FindSA-DK2-NAS(ネットワーク上のSA-DK2-NASを自動検出) ※Windowsのみ対応。Mac OSはSafariで自動検出可能。
保証期間	1年間

リファレンス

【管理設定メニュー画面一覧】

メニュー	タブ	内容	参照ページ
■クイックセットアップ	1.ウィザード	最低限必要な設定をおこないます。	23
■ユーザ/グループ管理	2.【ユーザ管理】	ユーザーに関する設定をします。	86
	3.【グループ管理】	グループに関する設定をします。	91
■フォルダ/プリンタ設定	4.【共有フォルダの設定】	共有フォルダに関する設定をします。	96
	5.【アクセス設定】	共有フォルダへのアクセス権を設定します。	100
	6.【プリンタの設定】	背面USBに接続したプリンタの設定をします。	103
■ディスク設定	7.【ディスク設定】	ハードディスクに関する設定をします。	104
	8.【RAIDの設定】	RAIDに関する設定をします。	106
	9.【ディスクの使用状況】	ディスクの使用量を確認できます。	108
■ネットワーク設定	10.【LANの設定】	ネットワークに関する設定をします。	109
	11.【DHCPサーバー】	DHCPサーバーのクライアント機能を設定します。	110
	12.【ファイルサーバー】	各種ファイルサーバーの設定をします。	111
	13.【Bonjour】	BonjourとiTunesに関する設定をします。	112
	14.【SSHサーバー】	SSHサーバーに関する設定をします。	113
■システム管理/設定	15.【時間の設定】	時刻に関する設定をします。	114
	16.【環境設定の保存】	設定環境を保存する操作をします。	115
	17.【環境設定の復元】	設定環境を復元する操作をします。	116
	18.【ファームウェアの更新】	ファームウェアの更新をします。	117
	19.【システムの初期化】	工場出荷状態に戻す操作をおこないます。	118
	20.【シャットダウン】	シャットダウンや再起動の操作をおこないます。	119
	21.【システムログ】	各種ログを確認します。	120
	22.【エラー通知】	メール送信に関する設定をおこないます。	121
	23.【情報】	本製品のシステム情報を確認します	122
	24.【アカウント】	管理者のパスワードを変更します。	123

■ユーザ/グループ管理

2.【ユーザ管理】 トップメニュー

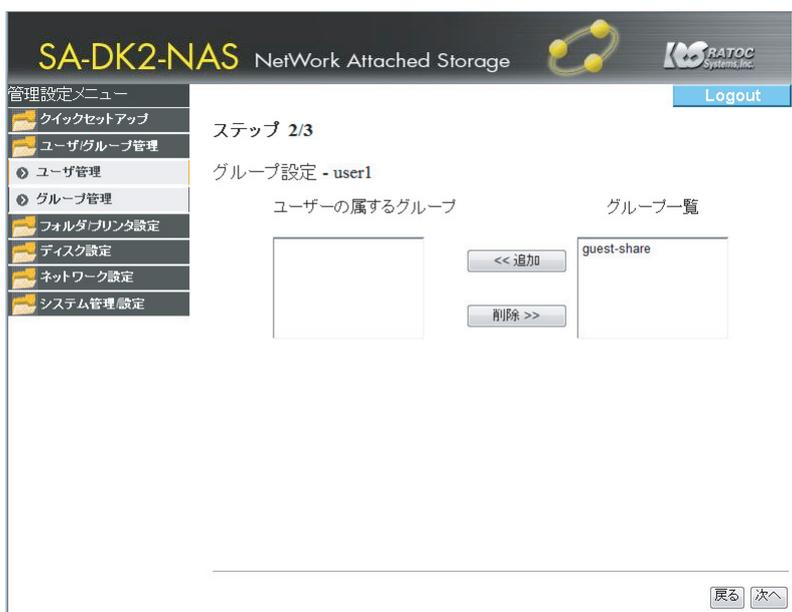


項目	内容
ユーザー一覧	登録されているユーザーを表示します。 (“admin”、“guest-share”はデフォルト設定となり、編集・削除はできません。)
新規ユーザの作成	新規にユーザーを作成します。(⇒86ページ)
ユーザの編集	選択したユーザーを編集します。(⇒89ページ)
ユーザの削除	選択したユーザーを削除します。

●ユーザ管理>新規ユーザの作成 >ステップ1/3

項目	内容
ユーザ名	ユーザーの名前を入力します。
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。
説明（オプション）	作成ユーザーへのコメントを入力します。
プライベートフォルダの作成	登録したユーザーのみアクセス可能なプライベートフォルダを作成します。
使用可能な容量	プライベートフォルダで使用可能な容量（MB）を制限します。

●ユーザ管理>新規ユーザの作成 >ステップ2/3



項目	内容
ユーザの属するグループ	ユーザーが属しているグループを表示します。
追加	ユーザーをグループに追加します。
削除	ユーザーをグループから削除します。
グループ一覧	登録されているグループを表示します。

●ユーザ管理>新規ユーザの作成 >ステップ3/3



項目	内容
アクセス可	アクセス可能なフォルダを表示します。
読み込み専用	ユーザーにフォルダへの読み込み権限のみを与えます。
書き込み可	ユーザーにフォルダへの読み書き可能な権限を与えます。
消去	ユーザーからフォルダへのアクセス権を削除します。
アクセス不可	アクセス権をもたないフォルダを表示します。

●ユーザ管理>ユーザの編集

SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage Logout

管理設定メニュー

- クイックセットアップ
- ユーザ/グループ管理
- ユーザ管理
- グループ管理
- フォルダ/プリンタ設定
- ディスク設定
- ネットワーク設定
- システム管理 設定

ユーザ管理 user1

パスワード (確認)

説明(オプション)

プライベートフォルダの作成

使用可能な容量 MB

保存

項目	内容
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。
説明 (オプション)	ユーザーの説明を入力します。
プライベートフォルダの作成	登録したユーザーのみアクセス可能なフォルダを作成します。
使用可能な容量	プライベートフォルダで使用可能な容量 (MB) を制限します。

3.【グループ管理】 トップメニュー



項目	内容
グループ一覧	登録しているグループを表示します。
新規グループの作成	新しいグループの作成をします。(⇒91ページ)
メンバーの編集	グループ内ユーザーの追加と削除をします。(⇒94ページ)
グループの削除	選択したグループを削除します。

●グループ管理>新規グループの作成>ステップ1/3

The screenshot shows the management interface for SA-DK2-NAS. At the top, there is a header with the product name 'SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage' and the RATO System, Inc. logo. Below the header is a navigation menu on the left with options like 'クイックセットアップ', 'ユーザグループ管理', 'ユーザ管理', 'グループ管理', 'フォルダプリンタ設定', 'ディスク設定', 'ネットワーク設定', and 'システム管理設定'. The 'グループ管理' option is selected. The main content area displays 'ステップ 1/3' and 'グループ作成'. Below this, there is a label 'グループ名' followed by an empty text input field. At the bottom right of the main area, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next).

項目	
グループ名	任意のグループ名を入力します。

●グループ管理>新規グループの作成>ステップ2/3

The screenshot shows the SA-DK2-NAS web interface. The top header includes the product name 'SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage' and the 'RATOC Systems, Inc.' logo. A navigation menu on the left lists various settings: 'クイックセットアップ', 'ユーザーグループ管理', 'ユーザー管理', 'グループ管理', 'フォルダ/プリンタ設定', 'ディスク設定', 'ネットワーク設定', and 'システム管理設定'. The main content area is titled 'ステップ 2/3' and 'グループメンバー - group1'. It features a section for '登録されたユーザ' (Registered Users) with a list of users: 'admin', 'guest-share', and 'user1'. There are buttons for '<<追加' (Add) and '削除 >>' (Delete). At the bottom right, there are '戻る' (Back) and '次へ' (Next) buttons.

項目	内容
登録されたユーザ	所属するユーザーを表示します。
追加	ユーザーをグループに追加します。
削除	ユーザーをグループから削除します。
ユーザー一覧	登録されているユーザーを表示します。

●グループ管理>新規グループの作成>ステップ3/3

項目	内容
アクセス可	アクセス可能なフォルダーを表示します。
読み込み専用	フォルダーへの読み込み権限のみを与えます。
書き込み可	フォルダーへの読み書き可能な権限を与えます。
消去	フォルダーへのアクセス権を削除します。
アクセス不可	アクセス権をもたないフォルダーを表示します。

●グループ管理＞メンバーの編集



項目	内容
登録されたユーザー	グループに所属するユーザーを表示します。
追加	ユーザーをグループに追加します。
削除	ユーザーをグループから削除します。
ユーザー一覧	グループに登録されていないユーザーを表示します。
変更の適用	設定を保存し、適用します。
キャンセル	設定を保存せず、グループ管理のTOP画面に戻ります。

■フォルダ/プリンタ設定

4. 【共有フォルダ設定】 トップメニュー



項目	内容
共有フォルダ一覧	登録されている共有フォルダを表示します。
新規共有フォルダの作成	新しいフォルダを作成します。(⇒96ページ)
保存	入力した説明(オプション)を保存します。
共有フォルダの削除	選択した共有フォルダを削除します。
説明(オプション)	ネットワーク上の共有フォルダのコメントとして表示したい説明を入力します。

●共有フォルダ設定>新規共有フォルダの作成>ステップ1/3

項目	内容
共有フォルダ名	フォルダーの名前を入力します。
説明（オプション）	フォルダーの説明を入力します。

●共有フォルダ設定>新規共有フォルダの作成>ステップ2/3

The screenshot shows the 'SA-DK2-NAS' management interface. The sidebar menu includes: クイックセットアップ, ユーザーグループ管理, フォルダプリンタ設定, 共有フォルダ設定 (selected), アクセス設定, プリンタの設定, ディスク設定, ネットワーク設定, システム管理設定. The main content area is titled 'ステップ 2/3 Windows, FTPのアクセス - folder'. It features a checkbox for '全てのアクセスを許可する' (checked), a section for 'アクセス可' with a list box and buttons '<< 読み込み専用', '<< 書き込み可', and '消去 >>', and a section for 'アクセス不可' with a list box containing 'admin', 'guest-share', 'user1', '@group1', and '@guest-share'. A note at the bottom states: '頭の「@」はグループ名であることを示します。'. Navigation buttons '戻る' and '次へ' are at the bottom right.

項目	
全てのアクセスを許可する	SMB、FTPクライアントからのアクセスを全て許可します。
アクセス可	アクセス可能なユーザー、グループを表示します。
読み込み専用	ユーザー、グループに読み込み権限のみを与えます。
書き込み可	ユーザー、グループに読み書き可能な権限を与えます。
消去	ユーザー、グループのアクセス権を削除します。
アクセス不可	アクセス権をもたないユーザー、グループを表示します。

●共有フォルダ設定>新規共有フォルダの作成>ステップ3/3

The screenshot shows the 'SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage' management interface. The left sidebar contains a '管理設定メニュー' (Management Settings Menu) with options like 'クイックセットアップ' (Quick Setup), 'ユーザーグループ管理' (User Group Management), 'フォルダプリンタ設定' (Folder Printer Settings), '共有フォルダ設定' (Shared Folder Settings), 'アクセス設定' (Access Settings), 'プリンタの設定' (Printer Settings), 'ディスク設定' (Disk Settings), 'ネットワーク設定' (Network Settings), and 'システム管理設定' (System Management Settings). The main content area is titled 'ステップ 3/3' (Step 3/3) and 'NFSのアクセス - folder' (NFS Access - folder). It features a checkbox for '全てのアクセスを許可する' (Allow all access), a list of '許可するIP/サブネット' (Allowed IP/Subnet) with '追加' (Add) and '消去' (Remove) buttons, and input fields for 'IPアドレス' (IP Address) and 'サブネット' (Subnet) with radio buttons.

項目	内容
全てのアクセスを許可する	NFSクライアントからのアクセスを全て許可します。
許可するIP/サブネット	アクセス可能なIPアドレスもしくはサブネット範囲を表示します。
追加	入力したIPアドレスもしくはサブネット範囲にアクセス権限を与えます。
消去IPアドレス	入力したIPアドレスもしくはサブネット範囲にアクセス権限を削除します。
サブネット	アクセスを許可するIPアドレスを入力します。
保存	アクセスを許可するサブネットの範囲を入力します。
	設定を保存します。

5.【アクセス設定】 トップメニュー



項目	内容
共有フォルダー一覧	登録しているユーザー、グループを表示します。
Windows、FTPのアクセス	共有フォルダーのWindows共有/FTP共有の設定をします。(⇒100ページ)
NFSのアクセス	共有フォルダーのNFS共有の設定をします。(⇒101ページ)

●アクセス設定 > Windows、FTPのアクセス

The screenshot shows the management interface for SA-DK2-NAS. The title bar includes 'SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage' and the RATO System, Inc. logo. A sidebar menu on the left lists various settings, with 'アクセス設定' (Access Settings) selected. The main content area is titled 'Windows、FTPのアクセス - folder'. It features a checkbox for 'すべてのアクセスを許可' (Allow all access). Below this are two list boxes: 'アクセス可' (Access Allowed) and 'アクセス不可' (Access Denied). The 'アクセス可' box is currently empty, while the 'アクセス不可' box contains the entries 'admin', 'guest-share', 'user1', '@group1', and '@guest-share'. Navigation buttons include '<< 読み込み専用' (Read-only), '<< 書き込み可' (Writeable), and '消去 >>' (Delete). A note states '頭の「@」はグループ名であることを示します。' (The '@' at the beginning indicates the group name). At the bottom are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

項目	内容
すべてのアクセスを許可	SMB、FTPクライアントからのアクセスを全て許可します。
アクセス可	アクセス可能なユーザー、グループを表示します。
読み込み専用	ユーザー、グループに読み込み権限のみを与えます。
書き込み可	ユーザー、グループに読み書き可能な権限を与えます。
消去	ユーザー、グループのアクセス権を削除します。
アクセス不可	アクセス権をもたないユーザー、グループを表示します。
保存	設定を保存します。

●アクセス設定 > NFSのアクセス

項目	内容
全てのアクセスを許可する	NFSクライアントからのアクセスを全て許可します。
許可するIP/サブネット	アクセス可能なIPアドレスもしくはサブネット範囲を表示します。
追加	入力したIPアドレスもしくはサブネット範囲にアクセス権限を与えます。
消去	入力したIPアドレスもしくはサブネット範囲のアクセス権限を削除します。
IPアドレス	アクセスを許可するIPアドレスを入力します。
サブネット	アクセスを許可するサブネットの範囲を入力します。
保存	設定を保存します。

6. 【プリンタの設定】

背面USBへ接続されたプリンタの設定をします。

パソコンでの設定は、64ページ「17-2.USBプリンタを共有して使用する」を参照ください。



項目	内容
有効	背面USBに接続されたプリンタのネットワーク共有を有効にします。
プリンタ名	接続されたプリンタのデバイス名を表示します。
説明（オプション）	背面USBに接続されたプリンタの名前を表示します。
保存	設定を保存します。

■ ディスク設定

7. 【ディスク設定】

(フォーマットされていない状態の時)

SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage

管理設定メニュー

- ディスク設定
- ディスク設定
- RAIDの設定
- システム管理設定

Logout

ディスク設定

デバイス名	タイプ	マウントポイント	状態	フォーマット	外付けHDD	詳細
/dev/sdb	none		unmount	ext3 フォーマット	取り外し	PASSED 詳細
/dev/sda	none		unmount	ext3 フォーマット	取り外し	PASSED 詳細

外付けディスクの検索

新しいディスクが見つかりました。フォーマットしてください。

項目	内容
デバイス名	本体ケースの下段 (Master) が /dev/sda、上段 (Slave) が /dev/sdb となります。
タイプ	フォーマットされている状態を表示します。(フォーマットされていない状態: none、RAID1/JBOD使用時: none、シングルモード時: ntfs、ext3、vfat)
マウントポイント	ハードディスクがマウントされた場所を表示します。 シングルモード使用時と外付USBディスク使用時に表示します。
状態	ディスクの認識状態を表示します。(ハードディスク認識中: mounted、ハードディスクを認識していない: unmount、RAID1/JBOD/シングルモード使用中: raid used)
フォーマット形式選択	フォーマット形式 ([EXT3]、[FAT32]) を選択します。
フォーマット	フォーマットを実行します。
取り外し	外付けハードディスク接続時に使用します。
詳細	ハードディスクの情報 (型番、シリアル番号など) の確認画面に切り替わります。 切り替わった画面から戻ってくるには、一番下にある「戻る」ボタンをクリックします。
外付けディスクの検索	画面表示を更新します。

(RAID1/JBOD時)

SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage

管理設定メニュー

- クイックセットアップ
- ユーザーグループ管理
- フォルダプリンタ設定
- ディスク設定
 - ディスク設定
 - RAIDの設定
 - ディスクの使用状況
- ネットワーク設定
- システム管理設定

Logout

ディスク設定

デバイス名	タイプ	マウントポイント	状態	フォーマット	外付けHDD	詳細
/dev/sdb	none		raid used	ext3 フォーマット	取り外し	PASSED 詳細
/dev/sda	none		raid used	ext3 フォーマット	取り外し	PASSED 詳細

外付けディスクの検索

ディスクをスピンドアウンするまでの時間: 10 分 保存

(画面はRAID1使用時)

(シングルモード時)

SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage

管理設定メニュー

- クイックセットアップ
- ユーザーグループ管理
- フォルダプリンタ設定
- ディスク設定
 - ディスク設定
 - RAIDの設定
 - ディスクの使用状況
- ネットワーク設定
- システム管理設定

Logout

ディスク設定

デバイス名	タイプ	マウントポイント	状態	フォーマット	外付けHDD	詳細
/dev/sda	ext3	/mnt/sd1	mounted	ext3 フォーマット	取り外し	PASSED 詳細

外付けディスクの検索

ディスクをスピンドアウンするまでの時間: 10 分 保存

項目	内容
ディスクをスピンドアウンするまでの時間	ハードディスクにアクセスがない場合、ハードディスクの回転を止めるまでの時間を設定します。(最大99分、0分に設定時は無効)
保存	スピンドアウンまでの時間設定を保存します。

※上記の設定は、現在ご利用いただけません。

⚠ 注意

2011年7月現在、本設定は動作しません。
ファームウェアアップデートにより省電力モードに対応する予定です。最新情報は弊社ホームページにてご確認ください。
<http://www.ratocsystems.com>

8. 【RAIDの設定】

(フォーマットされていない状態の時)



項目	内容
RAIDレベル	RAID1もしくはJBODより選択します。
RAIDシステムを作成する	RAIDの構築を開始します。
ディスクのステータス	左側：下段（Master）に挿入されたディスク 右側：上段（Slave）に挿入されたディスク

(RAID1/JBOD時)



(画面はRAID1使用時)

項目	内容
RAIDシステムを削除する	RAID状態を解除し、ディスクをフォーマットされていない状態にします。 ※RAIDシステムを削除するとハードディスクの中のデータと本製品の環境設定はすべて消えます。
ディスクのステータス	左側：下段（Master）に挿入されたディスク 右側：上段（Slave）に挿入されたディスク

(シングルモード時)

項目	内容
システムデータを消去する	ディスクをフォーマットされていない状態にします。 ※システムデータを消去するとハードディスクの中のデータと本製品の環境設定はすべて消えます。

ディスクアイコン一覧表

アイコン	説明
	ディスクがフォーマットされていません。
	RAID1/JBODが正常に動いています
	シングルモードが正常に動いています。
	ディスクに異常が発生しています。

9. 【ディスクの使用状況】

(RAID1/JBOD時)

SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage

管理設定メニュー

- クイックセットアップ
- ユーザーグループ管理
- フォルダ/プリンタ設定
- ディスク設定
 - ディスク設定
 - RAIDの設定
 - ディスクの使用状況
 - ネットワーク設定
 - システム管理設定

Logout

ディスクの使用状況

最終照合:4/14/2010 15:09:42

統計の取り方を選択してください: 全体

ディスク名	容量	使用領域	空き領域	使用率(%)
/dev/md	233972MB	134MB	233838MB	0%

更新

(画面はRAID1使用時)

(シングルモード時)

SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage

管理設定メニュー

- クイックセットアップ
- ユーザーグループ管理
- フォルダ/プリンタ設定
- ディスク設定
 - ディスク設定
 - RAIDの設定
 - ディスクの使用状況
 - ネットワーク設定
 - システム管理設定

Logout

ディスクの使用状況

最終照合:6/2/2010 16:47:30

統計の取り方を選択してください: 全体

ディスク名	容量	使用領域	空き領域	使用率(%)
/dev/sda	233717MB	128MB	233589MB	0%

更新

(画面はハードディスク1台で使用時)

項目	内容
統計方法の選択	ハードディスクの使用状況を選択した統計方法（全体/ユーザー別）で確認します。
更新	使用状況の更新をします。

■ ネットワーク設定

10. 【LANの設定】

SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage RATO System, Inc. Logout

管理設定メニュー

- クイックセットアップ
- ユーザグループ管理
- フォルダ/プリンタ設定
- ディスク設定
- ネットワーク設定
- LANの設定
- DHCPサーバー
- ファイルサーバー
- Bonjour
- SSHサーバー
- システム管理設定

LANの設定

ホスト名

IPアドレスの設定

- 自動でIPアドレスを取得する
- 以下のIPアドレスを使用
 - IPアドレス
 - サブネットマスク
 - デフォルトゲートウェイ
- DNSサーバーアドレスを自動で取得する
- 以下のDNSサーバーアドレスを使用
 - プライマリ
 - セカンダリ
 - ターシャリ

MACアドレス 00:C0:D0:70:00:09

項目	内容	
ホスト名	ネットワーク上で表示される名前を設定します。（デフォルト：sadm2）	
IPアドレスの設定	IPアドレス	本製品のIPアドレスをルーターなどのDHCPサーバーから自動取得するか、手動で設定するかを選択します。手動で設定する場合は「以下のIPアドレスを使用」を選択し設定をおこなます。（デフォルト：自動でIPアドレスを取得する）
	DNSサーバーアドレス	DNSサーバーアドレスをルーターなどのDHCPサーバーから自動取得するか、手動で設定するかを選択します。手動で設定する場合は「以下のDNSサーバーアドレスを使用」を選択し設定をおこないます。（デフォルト：DNSサーバーアドレスを自動で取得する）
Macアドレス	本製品のMacアドレスを表示します。	
保存	設定を保存します。	

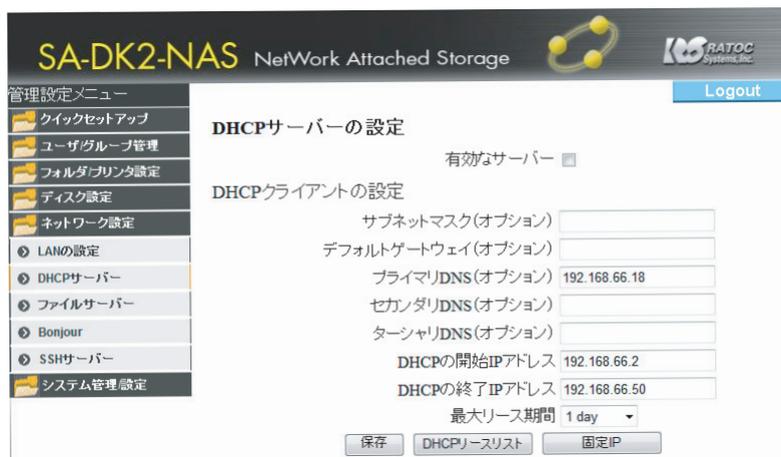
登録した内容はディスクに記録されます。

フォーマットを実行したり、マスターディスクを交換すると以下のようにホスト名は変わります。

- ・フォーマットされていないディスクはホスト名がデフォルト設定になります。
- ・フォーマットされたディスクはディスクに登録しているホスト名になります。

11. 【DHCPサーバー】

DHCPサーバー機能の設定をおこないます。



項目	内容	
DHCPサーバーの設定	有効なサーバー	本製品をDHCPサーバーとして機能させます。
DHCPクライアントの設定	本製品をDHCPサーバーとして機能させるために以下を設定します。	
	サブネットマスク	サブネットマスクのアドレスを入力します。
	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。
	プライマリDNS	プライマリDNSサーバーのアドレスを入力します。
	セカンダリDNS	セカンダリDNSサーバーのアドレスを入力します。
	ターシャリDNS	ターシャリDNSサーバーのアドレスを入力します。
	DHCPの開始IPアドレス	割り振るIPアドレスの開始アドレスを入力します。
	DHCPの終了IPアドレス	割り振るIPアドレスの終了アドレスを入力します。
	最大リース期間	IPアドレスを保持する期間を選択します。
DHCPリースリスト	DHCPサーバーとして割り振っているアドレスリストを表示します。	
固定IP	IPアドレスを固定する設定をします。	
保存	設定を保存します。	

12. 【ファイルサーバー】

項目	内容	
文字セット	主に使用する文字コードを設定します。デフォルト：日本語/CP932（シフトJIS）	
Windowsの設定	有効	Windowsでの表示を有効にします。
	ワークグループ	本製品が属するネットワークグループを設定します。
	説明	ネットワークで表示される本製品の名前を設定します。
	WINSサーバー（オプション）	WINSサーバーのアドレスを入力します。
FTPサーバーの設定	有効	FTPクライアントからのアクセスを許可します。
	ポート番号	開放するポートを設定します。
NFSサーバーの設定	有効	NFSクライアントからのアクセスを許可します。
ゲストのアクセスの設定	有効	すべてのアクセスを許可する“guest-share”フォルダーを作成します。
	クォータを有効にする	“guest-share”フォルダーの使用容量を設定します。
	ゲストユーザーのクォータ	
保存	設定を保存します。	

13. 【Bonjour】

BonjourとiTunesサーバー機能の設定をおこないます。

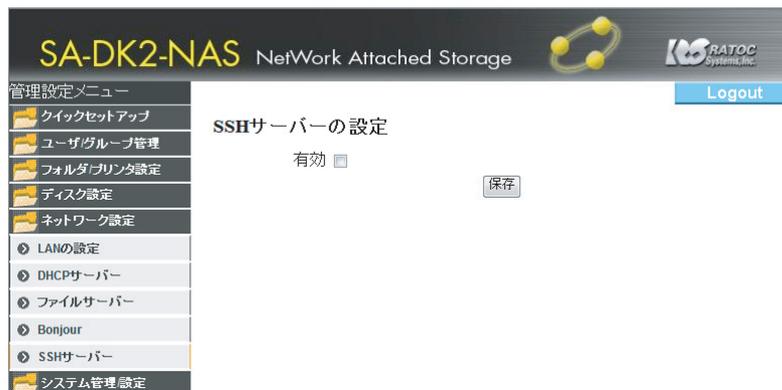


項目	内容
有効	Safariから検索できるようにします。
iTunes有効	本製品と同じネットワーク上のPCへ音楽データを公開します。
保存	設定を保存します。

14. 【SSHサーバー】

SSHからのアクセスを設定します。

※SSHアクセス用のアプリケーションソフトウェアが必要になります。



項目	内容
有効	SSHからのアクセスを有効にします。
保存	設定を保存します。

■システム管理/設定

15.【時間の設定】

時間の設定をおこないます

SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage

管理設定メニュー

- クイックセットアップ
- ユーザグループ管理
- フォルダプリンタ設定
- ディスク設定
- ネットワーク設定
- システム管理設定
- 時間の設定
- 環境設定の保存
- 環境設定の復元
- ファームウェアの更新
- システムの初期化
- シャットダウン
- システムログ
- エラー通知
- 情報
- アカウント

時間の設定

日付 月 4 日 26 年 2010

時間 時 4 分 30 午後

タイムゾーン (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

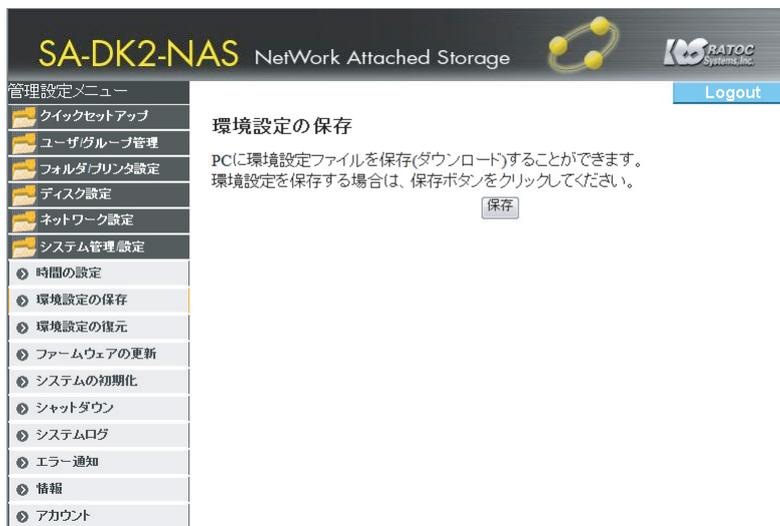
NTPサーバー None

保存 時間の更新

項目	内容
日付/時間	日付/時間を設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンをプルダウンより選択し設定します。 (デフォルト：Osaka、Sapporo、Tokyo)
NTPサーバー	インターネット時刻サーバと同期します。 NTPサーバーを利用して時刻設定する場合、“NTPサーバー”のプルダウンよりNTPサーバーを選択します。
保存	設定を保存します。
時間の更新	画面表示を更新します。

16. 【環境設定の保存】

現在の設定環境を保存することができます。



項目	内容
保存	現在の設定環境をファイル (.tar) にして、ローカルディスクへ保存します。 デフォルトファイル名：“config.tar”

■保存される項目

メニュー	項目
ユーザ/グループ管理	ユーザー設定すべて、グループ設定すべて
フォルダ/プリンタ設定	共有フォルダ設定すべて
ネットワーク設定	LANの設定、DHCPサーバー、ファイルサーバー Bonjour、SSHサーバー
システム管理設定	時間の設定、エラー通知、アカウント（パスワード含む）

17. 【環境設定の復元】

115ページ「環境設定の保存」で保存したデータを本製品に読み込み、復元します。



項目	内容
参照	保存している環境設定ファイルを選択します。
復元	選択した環境設定データを復元します。

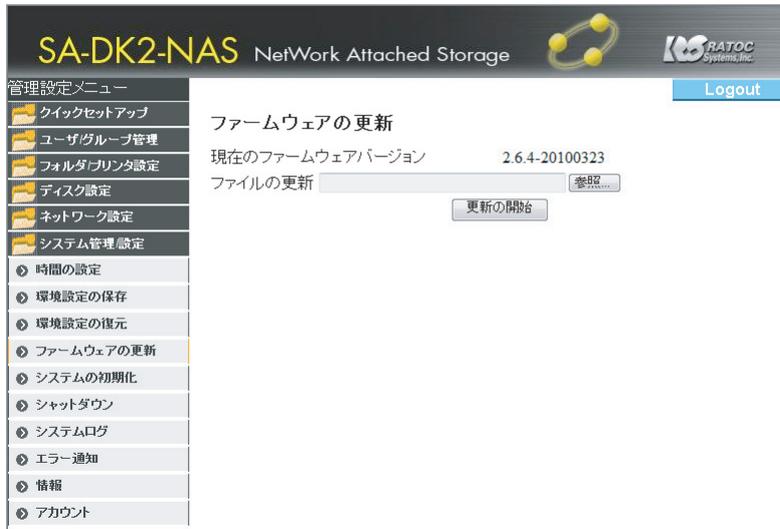
⚠ 注意

復元中は、他のユーザーがアクセスしないようにしてください。

18.【ファームウェアの更新】

ファームウェアの更新をおこないます。

ファームウェアの更新手順については、79ページ【**■**ファームウェアの更新をおこなうには】を参照ください。



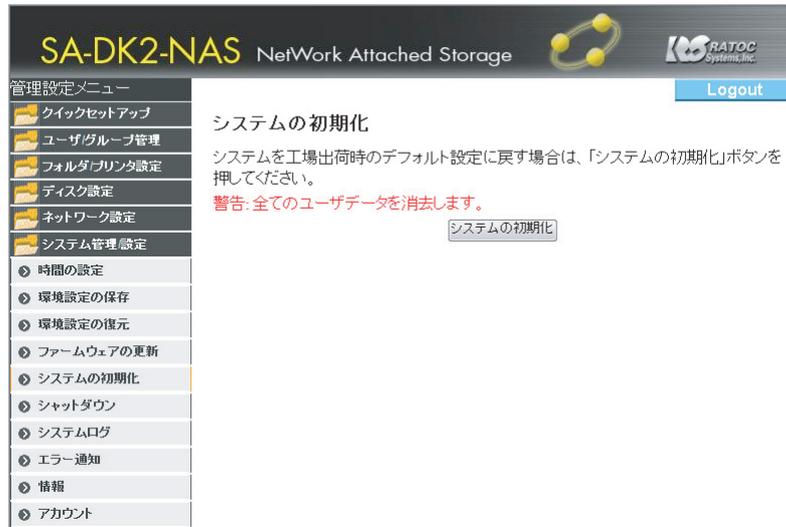
項目	内容
参照	ダウンロードしたファームウェアを選択します。
更新の開始	ファームウェアの更新を開始します。

⚠ 注意

ファームウェアの更新中は、他のユーザーがアクセスしないようにしてください。

19. 【システムの初期化】

全ての項目を出荷時の設定に戻します。ハードディスク内のデータは削除されますので必要なデータはバックアップしておいてください。

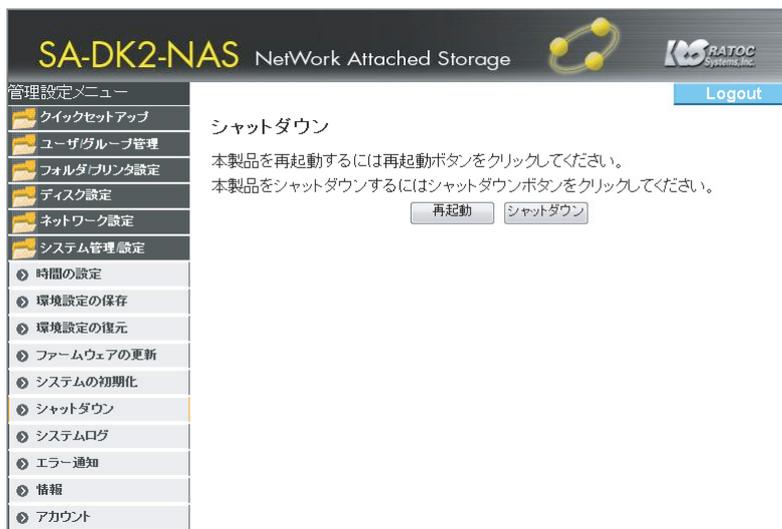


項目	内容
システムの初期化	工場出荷時の設定に戻します。

⚠ 注意

システムの初期化中は、他のユーザーがアクセスしないようにしてください。

20. 【シャットダウン】



項目	内容
再起動	再起動します。
シャットダウン	電源を切ります。

⚠ 注意

他のユーザーがアクセスしていないことを確認してから実行してください。

21. 【システムログ】

システムのログを表示します。

「Sambaログ」、「FTPログ」、「DHCPログ」、「管理ログ」をクリックするとそれぞれのログが表示されます。

The screenshot shows the SA-DK2-NAS management interface. On the left is a navigation menu with options like 'クイックセットアップ', 'ユーザーグループ管理', 'フォルダ/プリンタ設定', 'ディスク設定', 'ネットワーク設定', 'システム管理 設定', '時間の設定', '環境設定の保存', '環境設定の復元', 'ファームウェアの更新', 'システムの初期化', 'シャットダウン', 'システムログ', 'エラー通知', '情報', and 'アカウント'. The main area has buttons for 'システムログ', 'Sambaログ', 'FTPログ', 'DHCPログ', and '管理ログ'. Below these is a table of system logs with columns for '時間' (Time) and 'メッセージ' (Message). The log entries are:

時間	メッセージ
Apr 14 15:34:20	restart.
Apr 14 15:34:31	restart.
Apr 14 15:34:54	ProFTPD 1.3.0 (stable) (built Tue Mar 23 18:53:57 JST 2010) standalone mode STARTUP
Apr 14 15:35:00	Power management is enabled !!!
Apr 14 15:35:00	waiting for enter to start '-/sbin/getty 19200 console(pid 1330, tty "')

There is a '消去' (Clear) button below the log table.

項目	内容
システムログ	システムに関するログを表示します。
Sambaログ	Sambaに関するログを表示します。
FTPログ	FTPアクセスに関するログを表示します。
DHCPログ	DHCPサーバーとして処理したログを表示します。
管理ログ	アプリケーションが処理したログを表示します。
消去	ログを消去します。

22. 【エラー通知】

SA-DK2-NAS NeWork Attached Storage

管理設定メニュー

- クイックセットアップ
- ユーザーグループ管理
- フォルダプリンタ設定
- ディスク設定
- ネットワーク設定
- システム管理設定
- 時間の設定
- 環境設定の保存
- 環境設定の復元
- ファームウェアの更新
- システムの初期化
- シャットダウン
- システムログ
- エラー通知
- 情報
- アカウント

エラー通知の設定

Eメールでエラーの通知を行う

テストメールを送信する

送信者名

SMTPサーバー

POP before SMTP

POPサーバー

ユーザー名

パスワード

メールアドレス1

メールアドレス2

メールアドレス3

件名

SA-DK2-NAS Error Notify

保存

項目	内容	
Eメールでエラーの通知を行う	RAID1でのエラー発生時、メールで通知するかどうかを設定します。	
テストメールを送信する	設定した情報が正しく機能するか、実際にメールを送信してテストします。	
送信者名	送信するメールアドレスの差出人を設定します。	
SMTPサーバー	メール送信に利用するSMTPサーバーを設定します。	
POP before SMTP	POPサーバー機能を利用してメールを送信します。	
	POPサーバー	POPサーバーアドレスを入力します。
	ユーザー名	アカウント名を入力します。
	パスワード	設定しているパスワードを入力します。
メールアドレス1/2/3	送信先のアドレス設定します。	
件名	メールの件名を設定します。（デフォルト：SA-DK2-NAS Error Notify）	
保存	設定を保存します。	

■送られてくるメッセージ一覧

メッセージ内容	発生条件
RAID異常が発生しました。	RAID1/JBODに異常が発生している。
リビルド先のHDDが小さいのでリビルドできませんでした。	RAID1のリビルド元HDDよりリビルド先HDDの容量が小さい。
リビルドを開始しました。	リビルド開始時
リビルドを終了しました。	リビルド終了時
フォーマットを開始します。	フォーマット開始時
フォーマットを終了しました。	フォーマット終了時

23. 【情報】

現在の本製品の名前、ファームウェアのバージョン、IPアドレスを表示します。



The screenshot displays the management interface for the SA-DK2-NAS. The header includes the product name 'SA-DK2-NAS NetWork Attached Storage' and the RATOC logo. A 'Logout' button is visible in the top right. On the left, a '管理設定メニュー' (Management Settings Menu) lists various options, with '情報' (Information) highlighted. The main content area, titled 'システム情報' (System Information), displays the following details:

製品名	RATOC Network Storage
ファームウェアバージョン	2.6.4-20100323
IPアドレス	192.168.66.93

24. 【アカウント】

管理者のパスワードを変更したり、管理者の設定状態を確認できます。

The screenshot shows the management interface for SA-DK2-NAS. The main content area is titled 'アカウント情報 - admin'. It contains the following elements:

- パスワードの変更:** Two input fields for entering a new password, with a '(確認)' (confirm) button next to the second field.
- 言語の選択:** A dropdown menu currently set to 'ブラウザオプションから設定する'.
- 説明(オプション):** A text input field for adding a comment to the shared folder.
- ディスクの使用:** A section showing 'クォータ' (Quota) as 'unlimited', '使用量' (Usage) as '0.00MB', and '使用率' (Usage Rate) as '-'. Below this is a '共有ファイルリスト' (Shared File List) showing 'public (Writable)'.
- Buttons:** '保存' (Save) and '更新' (Update) buttons are located at the bottom of the configuration area.

項目	内容
パスワードの変更	新しいパスワードを入力します。
言語の選択	設定画面で使用する言語を選択します。 デフォルト：“ブラウザオプションから設定する”
説明（オプション）	ネットワーク上の共有フォルダ（admin）のコメントとして表示したい説明を入力します。
ディスクの使用	現在のディスクの使用量と使用率を表示します。
共有ファイルリスト	管理者がアクセス可能な共有フォルダーを表示します。
保存	設定を保存します。
更新	画面の表示を更新します。

お問い合わせ

本製品に関する問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。

なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただいておりますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等を行う関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410
FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)
営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。
<http://www.ratocsystems.com/>

修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理致します。
故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。
また修理に関してご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL:06-6633-0190

〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本
・製品
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）

〈送付方法〉 宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。
詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

オプション品のご案内

オプション品のご注文はラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com>

●REX-SATA3シリーズ用 交換用トレイ

型番	品名
SA3-TR1-LG	交換用トレイ(アルミ・ライトグレー)
SA3-TR1-BK	交換用トレイ(アルミ・ブラック)



交換用トレイ
(ライトグレー)

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛 **FAX:06-6633-3553**

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	SA-DK2-NAS	シリアル番号	
ファームウェアVer			
購入店名			
購入年月日			

※ファームウェアVerは、本製品の管理設定メニュー[システム管理/設定]-[ファームウェアの更新]で確認できます。

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS				
パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS				
接続HDD	メーカー名		型番	
	メーカー名		型番	
接続USB機器	種類	<input type="checkbox"/> ハードディスク <input type="checkbox"/> プリンター <input type="checkbox"/> プリンター複合機 <input type="checkbox"/> USBメモリ <input type="checkbox"/> USBカードリーダー <input type="checkbox"/> その他()	メーカー名	
			型番	
質問内容				

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

